勇者が死んだ！

I

村人の俺が
掘った落とし穴に
勇者が落ちた結果。

スバルイチ
SUBARUICHI

THE LEGENDARY HERO IS DEAD!
URA SUNDAY COMICS

スバルイチ

THE LEGENDARY HERO IS DEAD!
SUBARUICHI

勇者が死んだ！

村人の俺が
掘った落とし穴に
勇者が落ちた結果。

I

勇者が死んだ!
▶もくじ

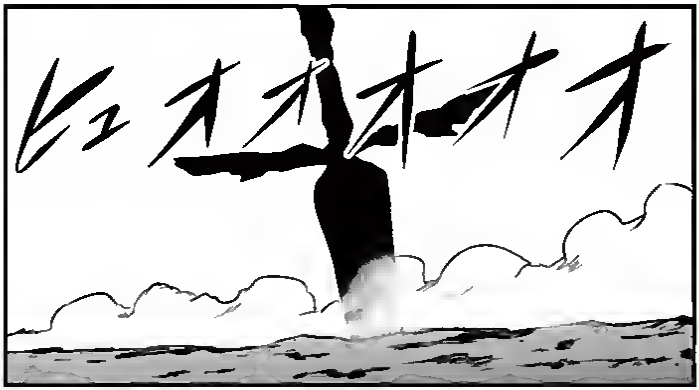
第1話　聖剣の勇者 ―― 3
第2話　屍術師（ネクロマンシー） ―― 23
第3話　勇者の力 ―― 45
第4話　魔力 ―― 65
第5話　遠征 ―― 85
第6話　悪魔の心臓 ―― 105
第7話　形状変化（ぎょうじょうへんか） ―― 125
第8話　人間の価値 ―― 141
第9話　アンリの心臓 ―― 155
第10話　趣味 ―― 169

第1話▶聖剣の勇者
ここが かの有名な 地獄の門…
オオオオオオオ
3年前 勇者シオンが聖剣の力で封印したんでしたっけ？
今にも悪魔が飛び出してきそうな おっかない雰囲気ですねぇ…
ビビってねーで仕事しな！
お！ こいつは高く売れそうじゃねーか。
お頭…うしろ…
ゴゴゴゴゴゴ

第1話▶聖剣の勇者

オオオオ

――3か月後
中央大陸
南西の村〝チェザ〟


ヒュオオオオオ

カッ!!

うおおおおお!

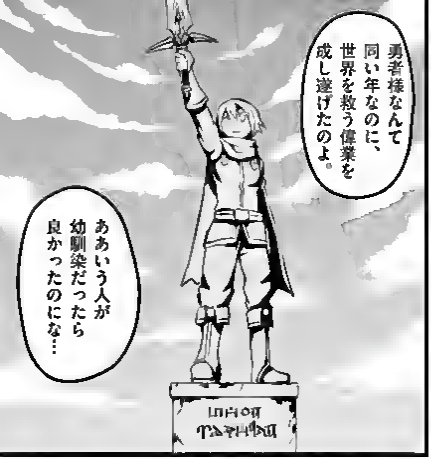
オオオオ
すごい…なんて神々しいんだ…
聖なるオーラがここからでも伝わってくるぜ…

ズボボボ
抜けた！
トウカ・スコット
ただの村人
美しい…
なんて美しい
大根なんだ！
まさに理想的な
フォルム！

スッ

今日からお前は
カトリーヌだ。
さあ、
カトリーヌちゃん、
オシャレ
しましょうねー。

トウカ！何やってるの!?
ユ…ユナ！
ユナ・ユニス
トウカの幼馴染
カトリ！…いや、だ…大根を収穫していただけさ。
じゃあ、どうして大根なんかに靴下履かせてんのよ!?
ふぉふぉ、またトウカとユナのやつが言い争っておるなー。
若いってのはいいですなー。
し…仕方ねえだろ！目の前に、理想的なふとももの形をした大根があったら、ニーソを履かせてやるのが男ってもんだろ！
そんな変態トウカだけよ！
なんだったのか
やめよう


まったく…
いっつもグダグダしてるか、いやらしいことしてばかり…
なんでこんなのが幼馴染なんだろ…
はあ!?
勇者様なんて同い年なのに、世界を救う偉業を成し遂げたのよ。
ああいう人が幼馴染だったら良かったのにな…

へいへい。
どいつもこいつも口を開けば勇者様勇者様…
たまたま聖剣に選ばれた、運がいいだけの男のどこがいいんだか。
だいたい悪魔共も復活してんじゃねーか！封印が不完全だったせいでよ！
隣町だって破壊的な被害にあったばかりだしな！

それでもまた悪魔と戦ってるんだから立派じゃない！
隣町にだって、ちゃんと勇者様が駆けつけたって話よ！
自分のミスを尻拭いすんのは当然だろ。
まあ、世界がどーなろうが俺には関係ねーけどな。
この家と畑さえ無事でいればな。
あとはユナ…お前も…

特にこのふとももも…
ムッチムチのふとももが…

幼馴染のユナ。
それってどーゆーイミ…
口うるさいし、がさつだけど、スタイルはマジで理想的なんだよなあ。

何さりげなく靴下履かせようとしてんのよ！
ち…違うんだ！ついクセで！

あーもう！ホントあんたってどうしようもないわね！
世界が大変な時なのにそんなことしか頭にないわけ!?
この村だって悪魔に襲われるかもしれないのよ！
ははは！その点は抜かりねえ！
この畑の周りには、対悪魔用の罠が張り巡らされているからな！

見ろよ、
この落とし穴なんか
自信作だぜ。
畑を荒らしに
やってきた悪魔は、
みーんな竹槍に串刺し！
誰の侵入も
許さねえ！
まさに要塞！
俺のスローライフは
未来永劫
約束されているって
ワケよ！

くっだらないわね。
せいぜい、
自分で作った罠に
引っかかって
死なないようにね。
おい！
ユナ！
チクショー！
バカにしやがって！
悪魔に襲われても
知らねえからな！

きゃあああああああ！

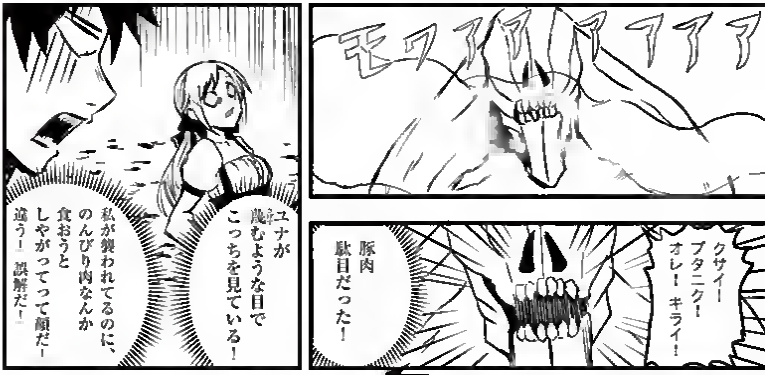
ニンゲン…
オレ…スキ…
ニンゲン…
オレ…クウ…

う…

うわあああ！
悪魔だぁぁ！
キャア
ついにこの村にも
攻めてきたああ！

オオ
オオ
い、いや…
こ、来ないで…
ニンゲン…
オンナ…
ウマソウ…
ニンゲン…
オンナ…
オレ…
スキ…
あのアホ！
ホントに襲われるやつがあるか！
ユナは俺の将来に欠かせない存在！
なんとか救い出されえと…
バン
バン

悪魔さーん。
おいしいお肉が
焼けてますよー！
パタパタ
パタ
ははは！
たとえ悪魔だろうと
人間より、こんがり焼けた
ジューシーな豚肉の方が
食いたいはず！
さあ、こっちに来い！
落とし穴で
串刺しにしてやる。
ドーン

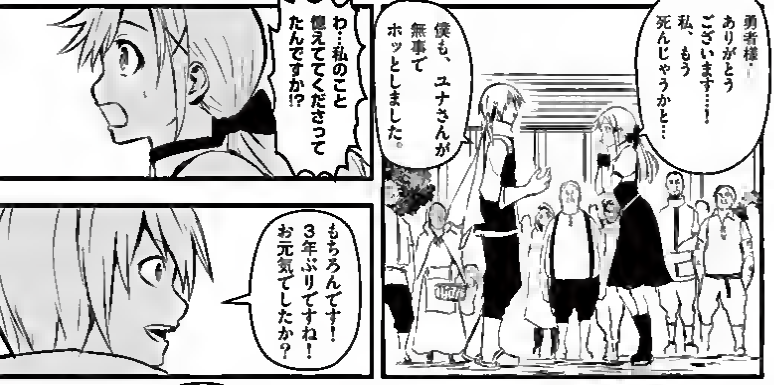

モフアアアアアアア
クサイー
ブタニクー
オレ！キライ！
豚肉
駄目だった！
ユナが
哀れむような目で
こっちを見ている！
私が襲われてるのに、
のんびり肉なんか
食おうと
しやがってって顔だ！
違う！誤解だ！

くそ…
こうなったら
直接やるしかねえ…
え！
離れてください！

ドガ
ドガ
オオオオオオ

ご無事ですか？
ゆ…
勇者様！
シオン・ブレイダン
勇者

うおおお！
勇者様だ！
勇者様が助けに
来てくださったぞー！


勇者様・
ありがとう
ございます…！
私、もう
死んじゃうかと…
僕も、ユナさんが
無事で
ホッとしました。
わ…私のこと
憶えててくださって
たんですか!?
もちろんです！
3年ぶりですね！
お元気でしたか？

そうだった…
ユナは3年前にも
こいつに悪魔から
助けてもらってたんだよな。
あの時は四六時中、勇者の話を
聞かされて最悪だったぜ…
嬉しい…
もう忘れてる
だろうなって
思ってたから…
僕もまた
ユナさんの笑顔が
見れて嬉しいです。
僕…ユナさんの
笑った顔が
大好きですから。
勇者様…
!?

はぁぁぁぁぁ!?
大好きですから
たとオオオッ!?
何さりげなく
口説いてやかんだ
ハクソ勇者がア!!
チクショオー!
ユナのやつも
なんかうっとりしてるし!
俺だって助けようと
したのに!
ユナ。
ホント無事で
良かったぜ。
まあ、俺も助けるところ
だったんだけどな。
はぁ?
話しかけんじゃねえよ
このクズ。
ひとりで
バーベキューの
焼きでも
やってろや。
完全に誤解
されてる――!
てゅーか、
何その表情の変化!
ホントに同じ人!?
俺も、お前の
笑った顔の方が
好きなんだけどー!
く…すべて勇者のせいだ!
3年かけてようやくユナが
振り向いてくれそうに
なってたのに!
俺の苦労を台無しにしやがって!
ギョロロロロ
なんだ、この音!
まさか悪魔か!?
くそ!
いったいどこから!

すいません。

これ…
僕のお腹の音です。

ズコォッ

あはははは！
勇者様の腹の音かー！
見かけによらず
豪快な音だな！！

道に迷っちゃって、
3日くらいなにも
食べてないんです。

勇者様でも
道に迷うことも
あるんだなぁ。

はぁ…
やっと町のうわさのこの子見せて
貰えるんだ…
好奇心でアプローチかけて
ガッカリされたくねえのに
ヤバイ…
ドキドキしてきた…
どんだけ人に入れ込んでんだ
こいつ…

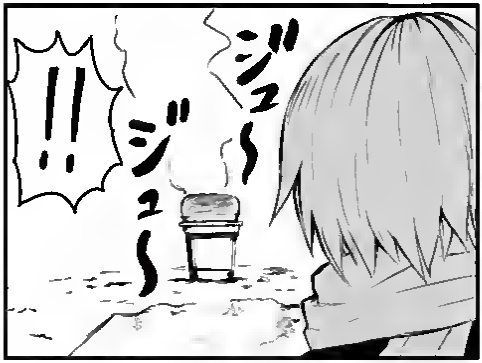
…勇者様！
それなら私の家に
来てください！

そ、その…
ちょうどお昼ご飯
作りすぎちゃって
困ってたんです！

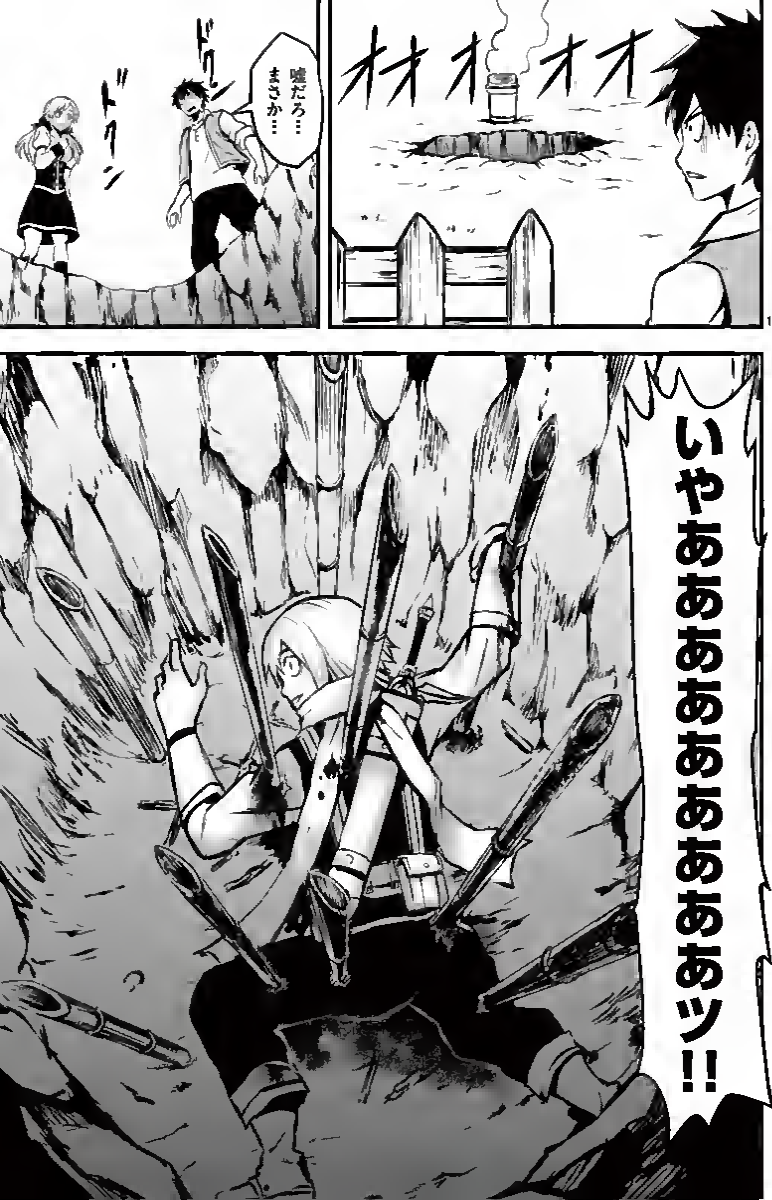
本当ですか！
じゃあその…
お言葉に甘え
ちゃいます。

ユナの手料理
だとおおおオ!?

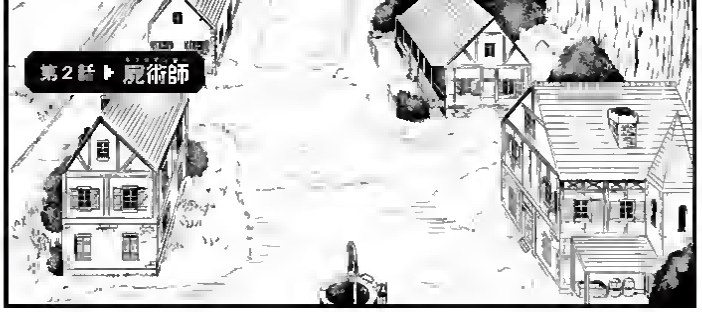
お、俺だって、一度も食べたことねえのに！
チクショー！
この男は…
どこまでも俺をヨケにしやがって！
悪魔にでもなんにでもやられちまえ！
モワァァァ
！
くんくん


あ！
すごくいいニオイがしますね。
あ、私の家はそこじゃ…
ジュ～
ジュ～
!!

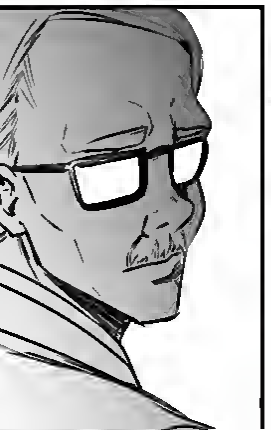
バーベキューですか！
僕、お肉大好きなんですよ！
あ！
おい！
そっちは！
ドッ


ドクン
ドクン
嘘だろ…
まさか…
オオオオオオ
19
いやあああああああッ!!

ヒュバッ


第2話▶屍術師

手術…
終わりました。



先生…
それで…
勇者様の容体は…

第2話▶屍術師（ネクロマンサー）

ウソだろ!?
一度世界を救った
男だぞ!
そんな簡単に
死ぬわけ…
だらーん
死んどる…
そんな…
うわあああ!
勇者様……!
ああ…!
悪夢だ!
勇者様がいなければ
地獄の門は封印できない……!
人類の歴史は
これで
おしまいじゃ……!
だ、大丈夫!
他の誰かがなんとか
してくれるって!
地獄の門だって、
木の板でも打ち付けときゃ
封印できるって!!
じゃあ、
責任取って
行きなさいよ!
あんたのせいで
死んだのよ!
ユナ!
いや、
それは駄目じゃ
ユナ。
村長…

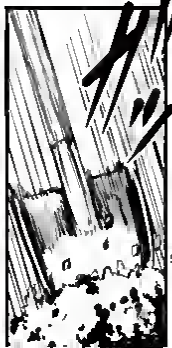
この者には、陛下の前で恭るべき裁きを受けさせるべきじゃ！
村長ォ!?
ちょ…ちょっと待て！これは事故だろ！
勇者が勝手に落ちただけじゃねーか！
不法侵入された挙句、食糧まで奪われそうになった俺はむしろ被害者だぜ！
言い訳してんじゃねえ！
さっさと裁かれろ！
その命で罪を償え！
ひいいいい！ちょっとみんな落ち着いて！
れ…冷静になって考えてみろ！
あの勇者が落とし穴で死んだなんて話、いったい誰が信じると思う？
俺だったらそんな理由で犯人を突き出した、この村の連中の方を疑うけどな！
いや…
トウカてめえ！この期に及んで罪をなすりつけようってのか！
トウカの言う通りじゃ…
こんな死に方、誰も信じるわけがない…

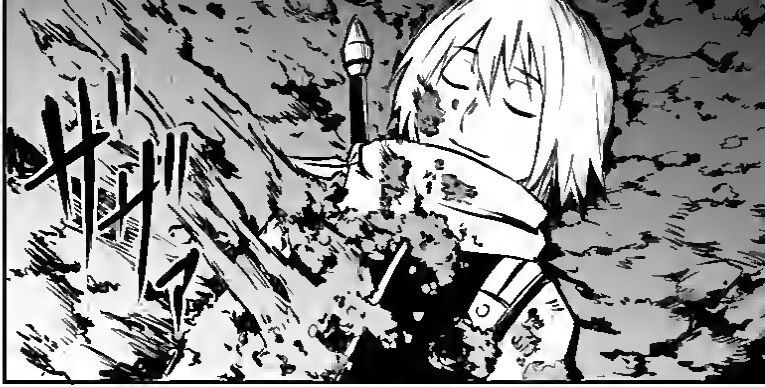
いや…

じゃ、じゃあ…悪魔がやったことにしよう…！
それだと俺らが無事な時点でおかしいだろ！
そ…そんな！つまりどうやっても俺ら全員犯人扱いされるってことかよ！

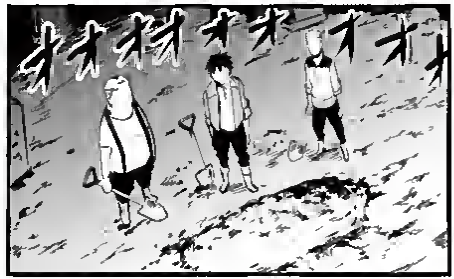
まだ方法はあるぜ。

オオオオオオオオ




ガリガリ

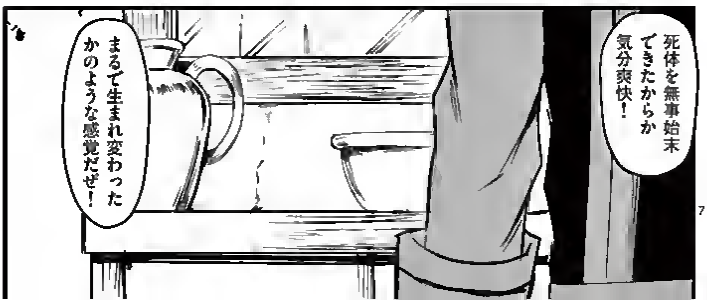
オオオオオ

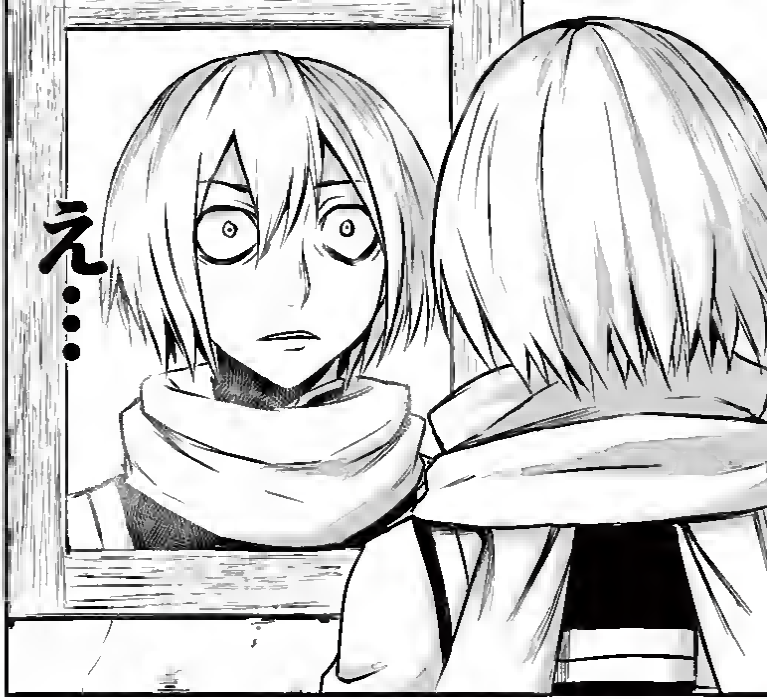

オオオオオオオ

オオオオオオ
村の平和は守られた！
ククク…
ハーッハッハッハ！

チュン
チュン

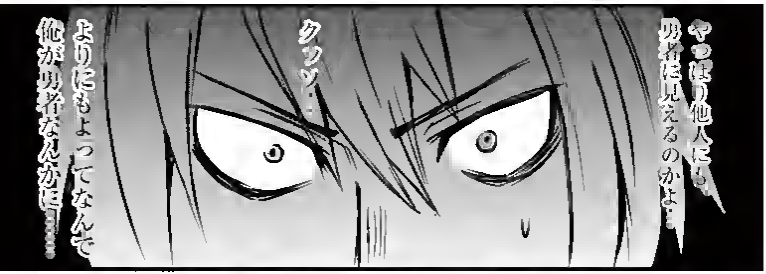
いやー、
すがすがしい
朝だぜー。
チュン


死体を無事始末
できたからか
気分爽快！
まるで生まれ変わった
かのような感覚だぜ！


え…

お…俺の顔…
どーなってんの!?
まるで勇者…
いや、まんま
じゃねーか!
なんか
ひでぇ顔色だけど…
ゆ…
夢じゃない
よな…?
おーい、
ユナー
いるかー?

誰よ…こんな朝早く…
え!?
勇者様!?
どうして勇者様が生きて…!
いやー…
なんつーかさえーっと…


やっぱり他人には勇者に見えるのかよ…
クソッ…
よりにもよってなんで俺が勇者なんかに……

ユナのヤツ…
完全にメスの顔してやがる…!!
そうか…!今なら…
ちょっとユナに頼みたいことがあるんだけど…

こ…
これで
よろしいでしょうか？
勇者さま…

ふ…
ふはははは!!
すげえ!!
すげえぞ!!
オオオオオ
これが勇者の力…
世界を救いし
英雄の力…!!
この姿なら、世界中のムッチリフトモモ美少女にニーソを履かせることすら容易!!
悪魔の弱点はニーソらしいぞー
バッ
まかせてー

勇者様…

勇者様が私のことを
真剣なまなざしで
見てくださってる。

やっぱり勇者様って素敵だなあ。

トウカとは大違い。

でもなぜだろう…

勇者様から
腐った肉のようなニオイがする。

モワァ

ダメダメ、ダメよ…

人をニオイで判断するなんて
女子ィーよ！

たとえ臭くても勇者様は…

モワァアアア

くせえええッ！

ドッ

おぶっ

勇者様超クサイッ！
死ぬほどクセエッ！
落ち着けユナ！
一体どうしたんだ！
え…？
ば…化け物!!
勇者様の姿をした
化け物だったのねっ!!
ち…違う！
俺は本当は
トウカだ！
お前の幼馴染の
トウカだよ！
トウカ…!?
トウカがそんな
化け物なわけ
ないじゃない！
朝起きたら
この姿になって
たんだよッ！
はあ!?
じゃあ、トウカ
である証拠は!?

魔法少女
マジカルユナリン。
あれ…
ユナリンさん…
お前が12の時、魔術師に
憧れて名乗っていた名だ。
この村でそれを
知るのは俺だけ！
自作のグセえ衣装まで
用意してよー。
笑えたぜ。

あんたがトウカだってことはよーくわかったわ。
てゆーか、最初に変態的な要求してきた時に気づくべきだった…
でも、どうやって勇者様の姿に変身したのよ。
知らねーよ！
俺が訊きたいくらいだよ！
ただ、これは昨日埋めた勇者の死体そのものだ。
オポ
変身というか、勇者の死体に精神だけ移し替えられたって感じだろうな。
なんらかの魔術によって…

フハハハ！
我が「屍術」の仕組みを見破るとは！
流石 勇者シオンを殺した男！
!?
トウカの家の方からだわ！
クソ…いったい何者だ！
フハハハ！
待ちわびたぞ！

ドロッ
フハハハハ！
私は屍術師（ネクロマンサー）
アンリ・ヘイズワース！
貴公を勇者シオンの姿にしたのはこの私だ！
アンリ・ヘイズワース
屍術師

な！
俺を勇者にして、いったい何が目的だ！
続けるの!?

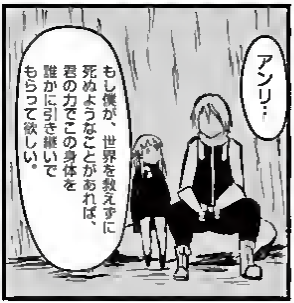
ぷる
ぷる
ぷる

ぷる
ぷる
それは…
あの…

その前に…
助けてください……
し…
死ぬかと思った…
ハァ
ハァ
くっ…
この私を
ここまで
追い詰めるとは…
目が覚めた時、
勇者の姿だったら
どういう反応するか
確こうと思ったら…
きっと
驚くぞー！
ベキッ
あっ！
あ――!!
ズボッ
私の行動を
予測して
罠が仕掛けられて
いたとは…
テメーが
ドジなだけじゃねえかー
…ったく、
屍術師だか
なんだか知らねえが、
ガキのイタズラに
付き合ってる
暇はねーんだ。
さっさと戻せよ。
イタズラでは
ない！

バン
貴公には、これから
勇者として
世界を救ってもらう！
はあッ!?

私は以前、
勇者シオンと旅を
していた時に
約束したのだ。


アンリ…
もし僕が、世界を救えずに
死ぬようなことがあれば、
君の力でこの身体を
誰かに引き継いで
もらって欲しい。

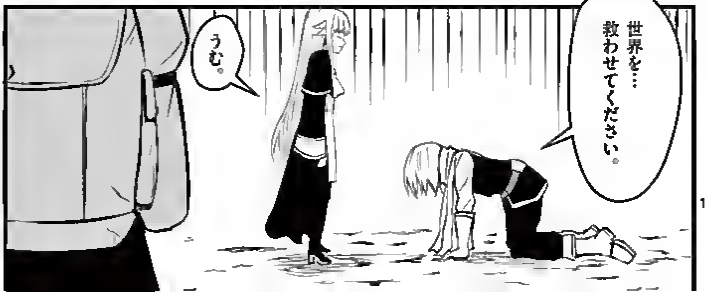
君が、この者なら
世界を救えると
確信できる人物に。

勇者シオンのみならず、
この私すら
殺しかけたその実力…
貴公ならば必ずや、
勇者として世界を
救えるに違いない！
二人とも勝手に
罠に落ちただけだろ!!

なるほど、
そういうことね。

ずっと憧れてたのよね。勇者様がしたような冒険の旅に。
それに勇者様に助けてもらった恩を返さないと…
バリバリン
私も行くわ。
準備はえーなッ!!
あんただって責任取るべきよ。
はッ!誰がやるかー
そんなメンドクセーこと!
ほう、
勇者殺しの罪で処刑されても構わないということだな。
ならば、私がこの場で執行してやろう。
クリ
イ
はははッ!バカが!仮にも勇者の肉体!
テメーのようなガキんちょに殺されるわけ…
貴公の本体はあくまで元の肉体だ。
!?

これは古代の魔導具「生者の棺」。
貴公の元の肉体はこの小さな棺の中に封じ込められている。
どこへ逃げようとも私がこれを破壊すれば、
その瞬間、貴公の意識は途絶えることになるであろう。
ほう…なるほどな…
そう来たか…


世界を…救わせてください。
うむ。

だが、
冒険には出ないぜ！
あくまで俺はこの
スローライフを貫く！
はあ!?
なんでよ！
なぁに、
世界は救ってやるさ。
俺に考えがある。

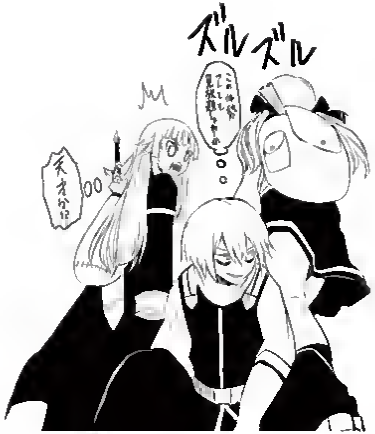
①まず、勇者が
この村にいるという噂を
世界中に広めてもらう。
勇者〜
勇者に
会えるよ〜
おいでよ！
勇者のいる村
チェザ

②それを知った悪魔のボスが、
勇者に3年前の復讐をしようと
この村に攻めてくる。
我が名は魔王！
悪魔を統べる王だ！
勇者よ！
我が闇の力によって
死ぬがいい！

③落ちる。
やったあああああああ!!

…という風になる。
天才か!?
なるかッ!

くだらないこと言ってないで、さっさと行くわよ!
いやだ!
俺は一生村でグラグラしたいんだ!
そもそも勇者が旅立たなきゃならないという風潮が間違ってるんだ!
うむ、一理ある。
ねーよ!
その前に世界滅ぼされるわッ!
ズル
ズル
こうして勇者になった村人とその仲間達の旅は始まった。


ズルズル

チェザから北東へ
半日の距離に位置する都市――
『ベルン』
第3話▶勇者の力

わー！
すっごい賑やか！
ベルンは、この地方最大の街だ。
ここでなら旅の準備も万全に
整えられるだろう。

クッソ…
俺はまだ、この旅を
認めたわけじゃねーぞ。

旅の準備はできても、
心の準備は
できてねーっての。

ちょっとトウカ、
ここまで来てまだ
駄々こねるわけ？
いい加減男らしく
覚悟決めなさいよ。

はっ。
俺はお前みたいに
切り替えの早い
人間じゃねーんだよ。

つーか、
愛しの勇者様が
死んだってのに、
もう旅を満喫している
お前の神経の方が
信じられないぜ。

はあ!?
私だって、本当は
悲しいわよー

でも、勇者様は
私の笑顔が好きって
言ってくれたのよ。
だったら、
いつまでも落ち込んだ
ままじゃ
いられないじゃない。

あーそーっすか。
こっちはこの旅を
続ける限り、
笑顔が戻ることは
ねーだろうよ。

勇者様？

勇者様だ！

ありがたや
ありがたや。

ザワ
ザワ

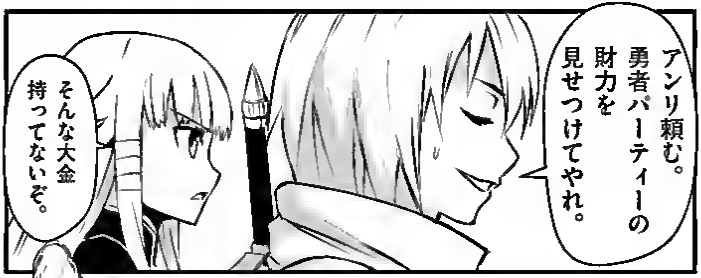
きゃあああ
勇者様よ！
すてき！

ははっ…
この身体…
パアァァ
サイッコー！
……

…どれも、村じゃ手に入らないものばかりね。
もっと早く来れば良かったわ。
ジャラ
！
こんなかわいらしい杖まであるんだ！
ちょっと欲しいかも！
さすが勇者様のお仲間様！お目が高い！

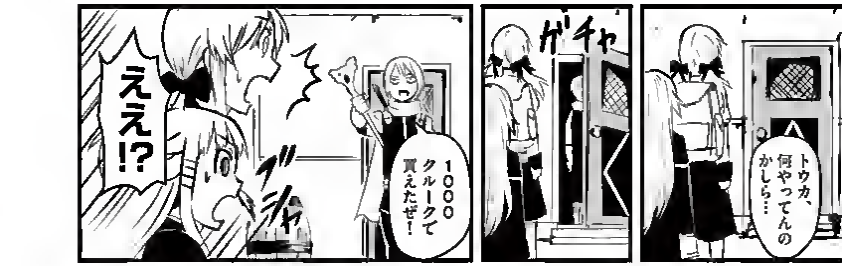
100クルーク＝約りんご一個分

へ…へえ～
１０００万…
たったの１０００万か～…
ははは！
流石は勇者様！
１０００万クルーフも我々にとっての１０００クルーフと同じ感覚なのでしょうなぁ。
いやー
うらやましい！

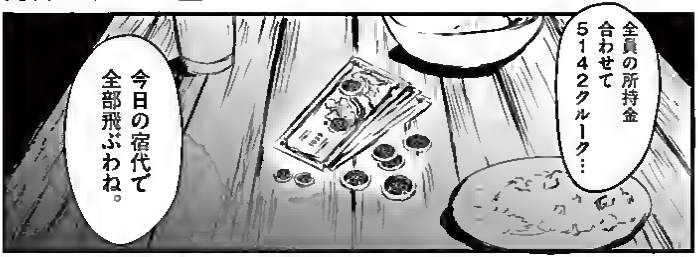

アンリ頼む。勇者パーティーの財力を見せつけてやれ。
そんな大金持ってないぞ。

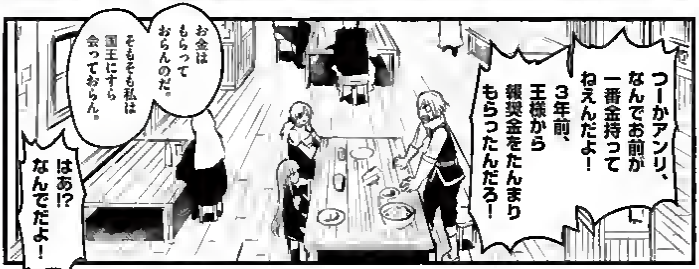
…ちょっと二人は外で待っててくれ。
お金…お持ちでなかったんですね。ではまたのご来店をお待ちして……

1000クルークだ。1000万も1000も同じようなモンだからな。
いや…それは勇者様にとっては…という話でして
売らねえってんならそれで構わねえぜ？
ただ、コレを買えなかったせいで世界を救えなかったら、お前はどう責任取るんだろうなァ…？
クリ
クリ
クリ
え…？


トウカ、何やってんのかしら…
ガチャ
1000クルークで買えたぜ！
ええ!?

さすがトウカ殿！
だが、いったいどうやって！
この…勇者を超えるカリスマ性のおかげかな。


全員の所持金
合わせて
5142クルーク…
今日の宿代で
全部飛ぶわね。


つーかアンリ、
なんでお前が
一番金持って
ねえんだよ！
3年前、
王様から
報奨金をたんまり
もらったんだろ！
お金は
もらって
おらんのだ。
そもそも私は
国王にすら
会っておらん。
はあ!?
なんでだよ！

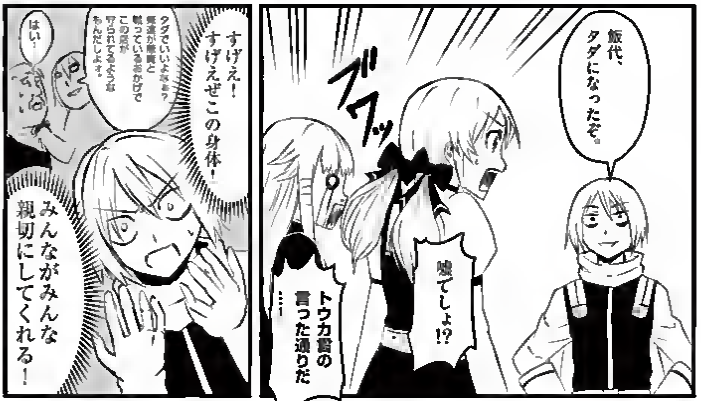
もしかして…
屍術（ネクロマンシー）
「禁術」なの？

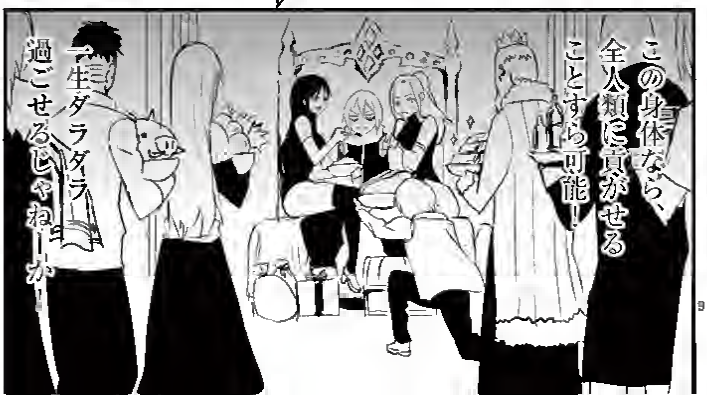
うむ…
やっぱり！
死者を
冒瀆するような魔術…
国が認めるわけないもの！

おい…
どういうことだ？
話が見えねーぞ。

禁術は、使用するだけで罪に問われる魔術のことよ。
代表的なもので言えば悪魔召還や精神操作系の魔術ね。
もし、禁術使いだということが公になれば、最悪処刑される可能性だってあるわ。
うむ。ゆえに、3年前の旅に私が同行したことは当時の仲間達しか知らん。
そして今回の旅は…もう勇者殿に迷惑をかけぬよう、遠くから見守るだけにしていたのだ。
よし！俺にも迷惑かけねえよう、今すぐ解放しろ！
ガタン
あんたは自業自得でしょうが！
そんなことより お金よ！
…これからの旅どうするのよ！
誰もがさっきの店の人みたいに、親切にしてくれるわけないし…
ユナ…俺はそこまで人類に絶望しちゃいないぜ！
え？

待ってな。
どんなヤツにだって、善の心が存在していることを証明してやる。
はあ…？
モグモグ


飯代、タダになったぞ。
ブワッ
嘘でしょ!?
トウカ君の言った通りだ……
すげえ！すげえぜこの身体！
タダでいいよね？
無遠慮な視線と触っている手かげでこの店が守られてるようなもんだしよう。
はい！
みんながみんな親切にしてくれる！

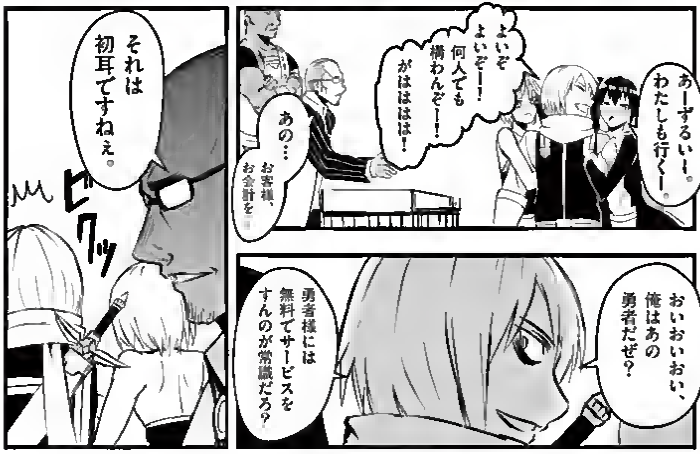

この身体なら、全人類に貢がせることすら可能！
一生ダラダラ過ごせるじゃねーか！

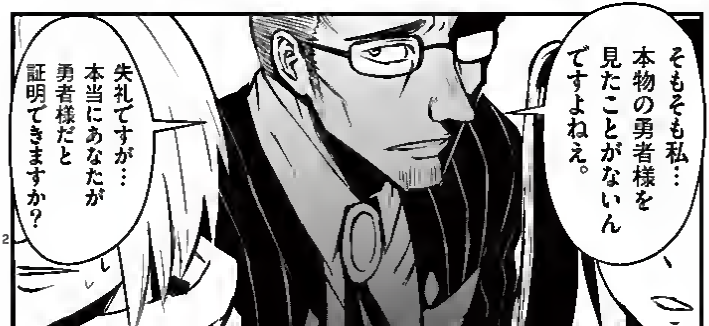
いやー、これなら金なんかなくても問題ねえな！
むしろ、人の優しさに気づくことができて一石二鳥だ！
スゴイ！流石勇者を超えた男の考えることは違うな！
ちょっと、このまま人の善意に甘え続けるつもり!?
そんなことしてたら私達がダメ人間になってしまうわ。
むむむ…そうだな。
冒険者ギルドで仕事を探しに行きましょう！
ほら！トウカも行くわよ！

はあ？別にいーじゃねーかよ。そもそもマジメに働くことが正義みたいな考えが、俺は間違っていると！
わー！ホントに勇者さまだー！
カッコイイー！
うおおお！フトモモムチムチお姉さん！
あの…これから私達の店で遊んでいきませんか？
え？

それでよ～！
ワイ
ワイ
11
千を超える悪魔の軍勢を、
俺一人でまとめて
ぶっ飛ばしてやったわけよ！
キャー！
すごい～！
素敵～！
うひょおおー！
これが天国！
マジで最高じゃねえか、
この身体！
あの、ご主人様は
ほっとい
俺だけの力を
あの美幸さま…
んん～？
ちょっと
ニオイませんか…？
ハッ

あ…はは…
しばらく過酷な旅を続けていたからな。風呂に入ってないんだ。
あ！じゃあ、私と身体洗いっこしに行きませんか！？
いいねー！洗いっこいいねぇ！さっそく行こうぜー


あーずるいー。わたしも行くー。
よいぞよいぞー！何人でも構わんぞー！がははは！
あの…お客様、お会計を。
それは初耳ですねぇ。
ビクッ
おいおいおい、俺はあの勇者だぜ？
勇者様には無料でサービスをすんのが常識だろ？

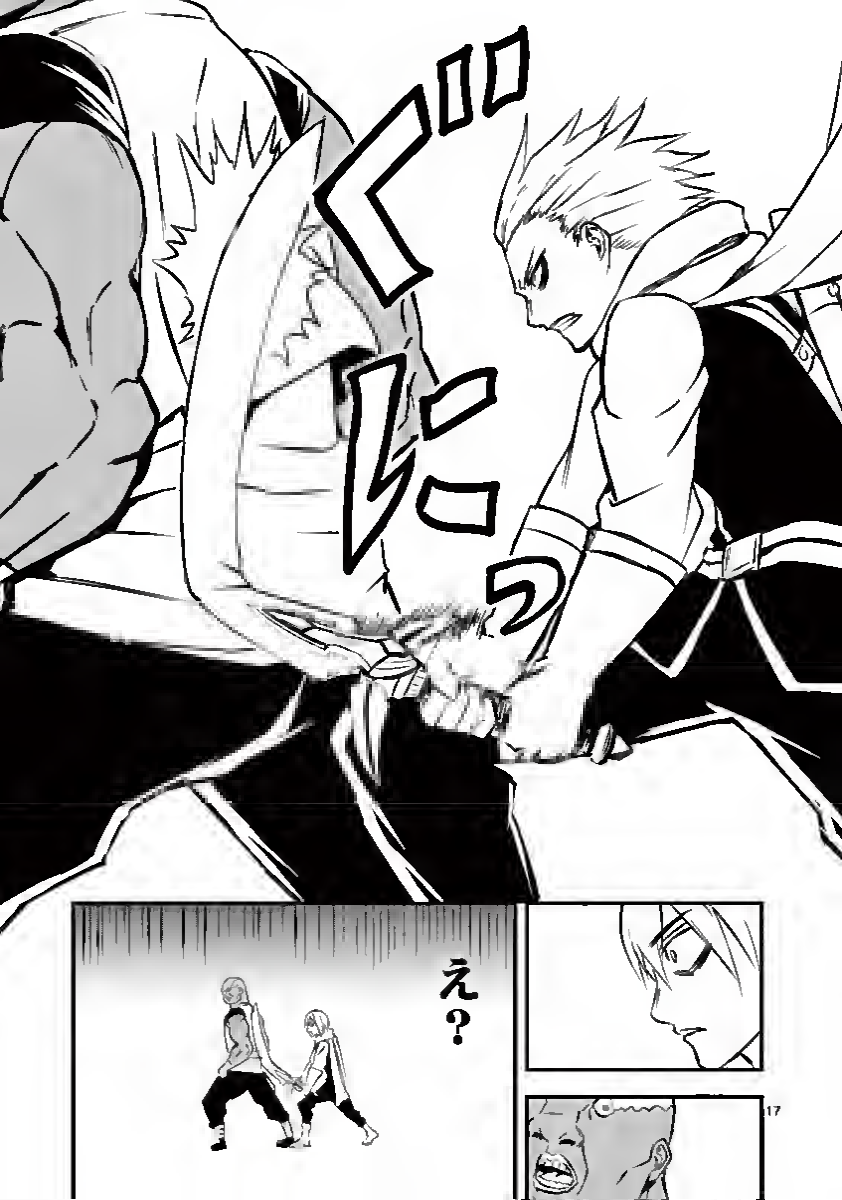

そもそも私…本物の勇者様を見たことがないんですよねぇ。
失礼ですが…本当にあなたが勇者様だと証明できますか？

あっれ…？
勇者のこと知らないヤツとかいるの？
いや、だってホラ…女の子達は俺が勇者だって…
そう言われましてもねえ…
店長、この方は本物ですよ。
自分は3年前、この方の勇姿を実際に目撃しました。
自分も前線で戦っておりましたので。
ここは自分が勇者さんと決闘をし、本物であることを証明してみせましょう。
ポキッ
はい？
そうそう！いやー、見てくれてたかー！あの戦いは大変だったよなー！
よし！デキトーに話合わせて乗り切ってやる！
ですので…

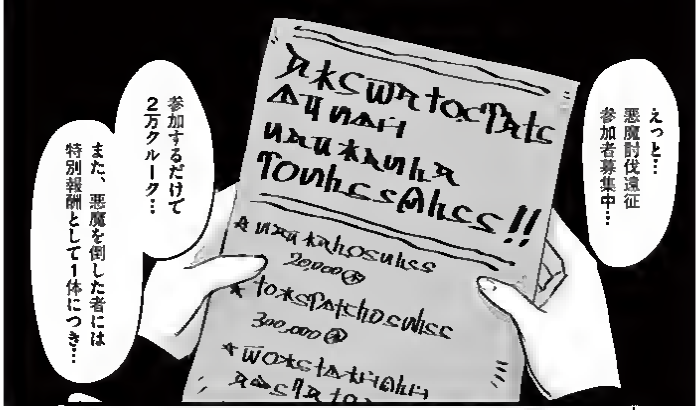
ヒュオオオオ
いやー、ウチの用心棒は街一番の力自慢でしてねー。
本当に勝てたら私も信じられますよ。
ゴゴゴゴ!!
ふざけんなあああ!
こんな屈強な男に勝てるわけねーだろ!
憧れの勇者さんと戦える日が来るなんて…
全力で来てください。ここで死んだとしても悔いはない!
俺は、ここで死んだら悔いありまくりなんだけど!?

い……いや……
落ち着け……！
勇者の身体に
聖剣……！
俺が負ける要素なんて
どこにある！
いいぜ。
一分で
終わらせてやる。
15
それでは…
はじめ！

消えた!?
やはりだ!
身体がムチャクチャ軽い!!
これが勇者の身体能力!
もらった!


え？

冒険者ギルド
まったく…
あのバカは
どこへ行ったのよ！
ユナ殿、
この仕事は
どうだろうか？
タタタッ


えっと…
悪魔討伐遠征
参加者募集中…
参加するだけで
2万クルーク…
また、悪魔を倒した者には
特別報酬として1体につき…

30万クルーク！
いーじゃない！
悪魔退治もしつつ、
お金ももらえる！
これこそ
一石二鳥よ！
フハハハ、
褒めてもよいぞ！
うん、
えらいえらい！

あとは、あのバカを
見つけ出して…
お！
アンリ？
アンリじゃないか！
あ…

…
アンリちゃんの知り合い？
え？誰なの、あのイケてる人！
俺はカイル。
アンリとは一緒に世界を救った仲さ。
グイッ
よろしくね、カワイイお嬢さん。
カイル・オズメント
勇者シオンの仲間

ひいい
目がァ！
俺の目
どこォ！
第4話▶魔力
チクショー！
なんで聖剣曲がっちまうんだよ！
あのおっさん、そんなに頑丈なわけ!?
あ！
良かった
なくなったら
どうしようかと
思ったぜ…
ゴッ!!
ニ…
ニセモノ！
ゆ…勇者さんが
こんな弱いわけがない!!
え…？

冒険者ギルド
定住の地を持たぬ流れ者、遺跡や洞窟の探索を生業とする者。
狩人や傭兵など。
いわゆる冒険者達が仕事の依頼を請け負う場所。
その仕事内容は。
届け物を町から町へと運ぶような簡単なものから。
化け物退治等の命の危険を伴うものまで様々である。

第4話 ▶ 魔力

勇者様の仲間！
ゆ…
あれ？知らないかな？けっこう有名だと思ったんだけど…
い、いえ！大陸有数の名家ご出身のカイル様を知らないわけがありません！
勇者様の右腕として、肉体的にも精神的にもサポートされたと聞いております！
ただ、お顔をご拝見するのは初めてで…
こんな素敵な方だとは思いもよらず…
はは、嬉しいね。
でも、俺がどんな人間だとしても、自然体で接してくれて構わないよ。
俺も、君のような素敵な女性とはもっと深く知り合いたいからね。
カイル様…
カイル殿…こんなところになんの用だ。

シオンの目撃情報を聞いてここに来たんだ。

あいつなら誰か困ってる人はいないかと、ギルドに必ず立ち寄るだろ？

君は居場所を知ってるんだろう？

君がシオンとの約束を破るような人間じゃなければ…

と、言うか…

……

勇者殿は…

死んだ…

ザワ

ザワ

おい！

ふざけんな！

ここから下ろせ！

ワァァァ
ふざけてんのはテメエだ！
1000万の枝返しやがれ！
金払え！
このニセモノ！

ちょっと待て！
ちゃんとよく見ろよ！
正真正銘勇者の姿だろ！

テメーがよく見てみろ！勇者がそんな不健康な面してるわけねーだろ！
それにクサイ！
確かにクセェ！
モワ
勇者があんな悪臭を放ってるわけがない！

いや…そ、それはちょっと…呪われてて…ね！
お…おかしい…

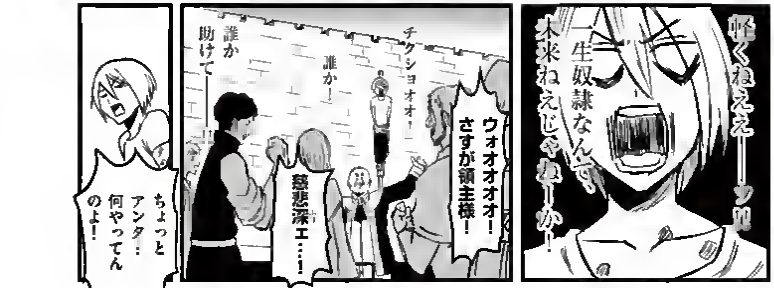
確か、この町に来る前…
う～～～
クセエ…

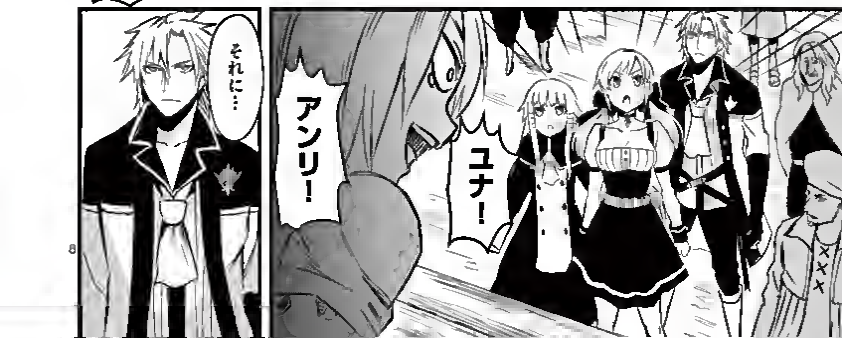
なあ
このニオイなんとかなんねぇの？
このまま腐敗が進んだら、死んでることがバレるんじゃ
まったく臭わないが？
お前はその汚え鼻水なんとかしろ！
フハハハハ！
案ずるな！
ゾンビ化した肉体は魔力により維持され、さらに自己再生能力まで有する。
しばらくすれば、生前の姿に戻ることだろう！
しかも傷を負っても、ゾンビならば簡単に再生する！
むしろ便利！
…とか言ってたのに…
どう考えても腐敗が進行してるだろ！
何が呪われてるだ！
そんな話、誰が信じるか！！
しゃ、じゃあホラ聖剣！
この聖剣は曲がってるけど本物だぜ！
6
!?

まったく…
頻繁に現れるな。
勇者を騙る
偽物は。
これは、他の
偽勇者たちから
押収した
聖剣のレプリカだ。
どれも精巧な出来だろう。
曲がった聖剣で
騙そうなんて、話にならん。
領主様！
領主様だ！
勇者のフリして
悪事を働く連中が
いるなんて！
許せねえ！
貴様も
だろうが！

それで、この者の処遇は
いかが致しましょう。
これ以上、模倣犯を
増やさないために、
見せしめとして
死刑や終身刑も
妥当ではないかと
妥当じゃねえよ！
どっちもイヤあああ!!
いや、彼はまだ
先のある若者…
ここは、彼の未来を
考えて、刑を
軽くしてやるべきだ。
え…？

この街で
生涯奴隷として
働いてもらう！
よって
彼には…
仙上様……！
なんてよい人じゃん！


軽くねえ――ッ!!
一生奴隷なんて
未来ねえじゃ――か！
ウォオオオ！
さすが領主様！
チクショオオ！
誰か！
誰か
助けて
禁断深エ……！
ちょっと
アンタ…
何やってん
のよ！


それに…
アンリ！
ユナ！

カイル様だ！
カイル様、あの勇者様の仲間の!?
きゃああ！かっこいい。

お言葉ですが彼の姿や行った行為を考えると、
とても本物の勇者様だとは思えません。
貴方様も騙されておられるのでは……

これはこれはカイル様、こんなところにいったい何のご用で。
友人に用があってね。彼は本物だ。解放させてもらう。
本物…？
やはり本物だったのか…。

巨大な剣…？

うおおお！
助かったぜ！

事情はアンリ達から聞いた。
聖剣を構えて、巨大な剣の姿をイメージしてくれ。

それでは、証拠を見せよう。

キィィィィ
ウワ
あれは、本物の聖剣です！
戦場でも勇者さんは、聖剣を巨大化させて悪魔を一網打尽にしていた！

うおおおお！
なんだこりゃ…!!
俺も見たことあるぞ！
私もだ！
ということは彼は本物の…

ぐーーー

おい…
曲がったぞ…
戦場で見た時は、あんなふにゃふにゃじゃなかったぞ…
やっぱり偽物…？
なあ、
どうなってんの、コレ…
こっからどうすりゃいいんだ？
あっれえええええ!?
13
ともかく、これで証明されましたな。
彼は偽物だと…
ちょっと待って！
このギルドにあった悪魔討伐遠征の依頼！
彼が誰よりも多く悪魔をしとめれば勇者って認めるでしょ！
それは無理！
いや、ちょっとユナ！

ワアアア

20体以上ォ…!?
無理に決まってるだろォ――ッ!
なんであんなアホな宣言しちまったんだ!
しょーがないでしょ!他に切り抜ける方法が思いつかなかったんだし!

旅に試練は付き物だ。まぁ、なるようになるだろう。
オイシー
オイシー
オイシーじゃねえよー
こうなったのも全部テメーが俺に嘘ついてたからだからなー
身体は腐ってくわ、聖剣はフニャフニャだわ、どういうことか説明しやがれ…!
やあああ――!

コン
コン

ふむ…
トウカ殿の手から離されると普通の硬さに戻るのか…
聖剣の強さは選ばれし者の魔力に影響される…
そして同じく、ゾンビの身体の維持にも魔力が必要―
導き出される結論は一つ…

トウカ殿の魔力は極めて低いということだ！
はあ!?ちょっと待てよ！
これは勇者の身体だぜ!?当時の魔力がそのまま出せるんじゃねーの!?
いや、魔力はあくまで精神に依存する。つまり、元のトウカ殿の魔力そのままなのだ。

それなら納得ね。トウカは精神まで腐りきってるって感じだもの。
昔日…勇者殿を倒した男だから、てっきり魔力も高いものだとばかり！
ま、まだそうと決まったわけじゃねーだろ！逆にすごすぎて、フニャフニャなのかもしれないし…！
ならば調べてみよう。

これは輝晶石。
本来は、魔術の使用に用いる結晶体だが、これを強く握ると…
このように光り輝く。
その者の魔力に応じてな。
さすがアンリだねえ。ほとんど最高レベルと言っていい輝きだよ。
貸しな。
全世界を光に包んでやんよ！
フン！
あれ…
反応しないんだけど…壊れてんの…？
いや…ちょっと中心が明るいぞ。
ショッボ！
ポワッ
ふむ…

トウカ殿の魔力レベルは！。
幼児並だ。
あはははは！
よ、幼児って！
確かにあんたの精神って、赤ちゃんの時から成長してなさそう！
そういうテメーはどうなんだよ…
ユナ殿は魔力レベル2
子供並だな。
ぎゃはははは！
あんま変わらねえじゃねえか！
嘘よ！
何かの間違いよ！
私、毎日杖を素振りしてたのに！
それ、明らかに魔力じゃなく、筋力鍛えてるだろ…
しかし、これは由々しき事態だね。
戦闘面での不安はもちろん、このままでは腐敗が進行し、いずれ骨だけになってしまうだろう。
…
そこでだ。
俺が代わりに勇者をやるというのはどうだろうか？

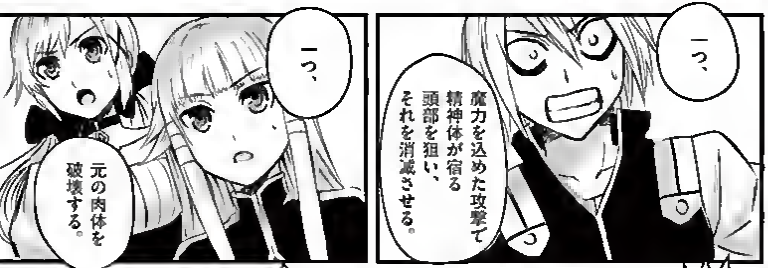
ホントか！
そいつは名案だぜ！
いやー、
これで元の生活に
戻れるぜ！
私も賛成ね！
トウカがやるより
100万倍
ふさわしいわ！
私もお供して
よろしい
でしょうか！
もちろん
構わないよ。
はあ？
駄目だ。
えーお前まで
行っちゃうの？
村で一緒に
ダラダラ
してよーぜ？

カイル殿を
勇者にするのは
認めない。
いやー、
俺の強さを
認めてくれるのは
嬉しいけどさ…
やっぱやりたいやつに
やらせるのが
一番じゃねえの？
……3年前のこと、
まだ引きずってる
のかい？
俺を勇者に
してくれれば、
悪いようには…
え？
3年前何か
あったの…？
いや、
関係ない。

勇者殿は、世界を救える人物に引き継げと言った。
勇者を殺した男、勇者に勝てなかった男…可能性を感じるとしたら前者だろう。
いや…
だからあれは事故で…
それなら
ヒュッ
今、この場で彼を殺せば認めてくれるかい。
は？

君を殺す方法は二つ。

第5話▶遠征


一つ、
魔力を込めた攻撃で
精神体が宿る
頭部を狙い、
それを消滅させる。
一つ、
元の肉体を
破壊する。

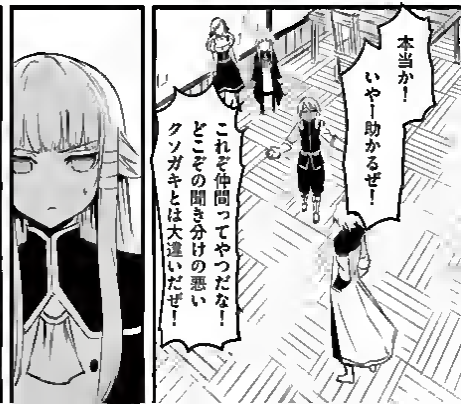
あ…あんた、
何わけわかんねーこと
言ってんだよ！
お、おい
アンリ！
俺は降参するぞ！
だから、勇者の身体は
こいつに渡してやれ！
おい！
アンリ！

なんてね。
冗談だよ。
え？

仕方ない。
明日の遠征では、
俺が君の側で
代わりに戦うさ。
それを、君が
倒したことに
すればいい。

名案だと
思ったからさ、
こうでも言えば、
アンリも折れて
くれるんじゃないかと
思ったんだけど…
やっぱり
アンリの
頑固さには
敵わないね。

そう悪く
言うなよ。

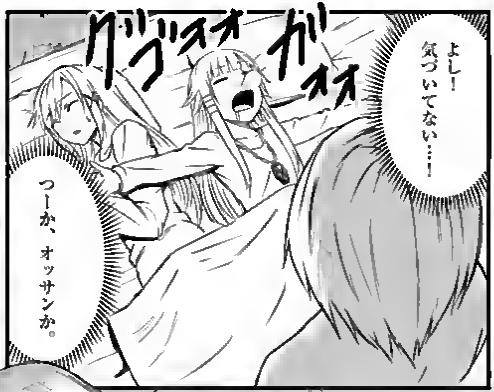

本当か！
いやー助かるぜ！
これぞ仲間ってやつだな！
どこぞの聞き分けの悪い
クソガキとは大違いだぜ！

俺もアンリも、世界を救いたいという気持ちは同じさ。
カイルさん…
カイル…
それじゃ、俺は別の宿に泊まっているからさ。明日また迎えに行くよ。
おう、待ってるぜー。
いやー、あのクソ勇者やアンリの仲間でもいいヤツはいるもんだなー。
これで安心して旅を続けられるぜ……

カッ!!
…とでも思うかよ!
×××
あのクソガキ!
俺が殺されるかもしれないってのに、まったく助けようとしなかった!
このままじゃ明日乗り切ったとしてもいずれ死ぬ!!
ガチャ
…取り返すしかない…
ガチャ
俺の肉体を!

ミロタッ

肉体さえ取り戻せば、
あとは元に戻す方法を
探しゃあいい。
それこそ、
カイルに頼めば、
なんとかしてくれるかも
しれないしな。


グゴゴゴゴ
ガオオ
よし！
気づいてない……！
つーか、オッサンか。

あとは、
どうやって
取るかだな。

んん…
お…
落ち着け…俺…
今はやつらに気を
取られている場合じゃ
ねえだろ…
なッ!!
命が懸かってるんだぞ！
集中しろ！
俺！

ふう…
やはり、ニーソはフトモモの魅力を最大限に引き出すな。
…って
バカか俺は!!
肉体回収しに来たんだろうが!!
いやー、いい仕事したぜ!!
今夜はいい夢見られそうだな。
ガチャ
クソ…!
このタイミングに退棒か!?
ガチャ
ガチャ
!

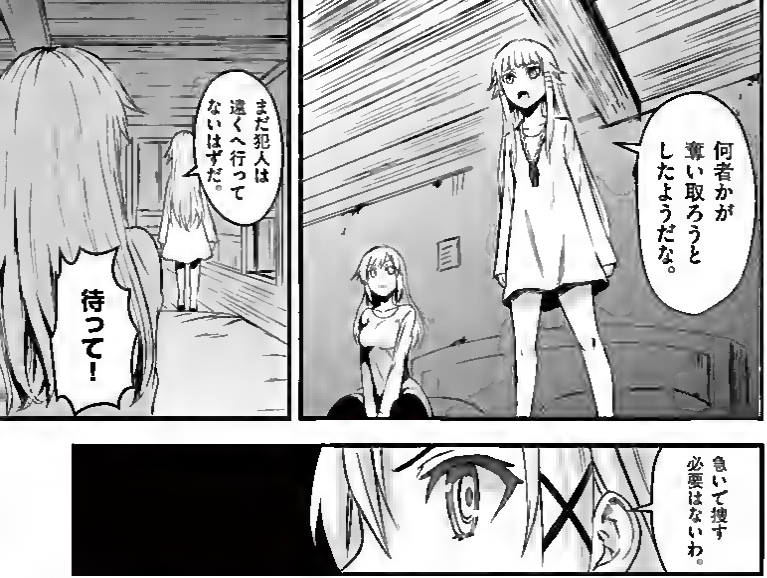
カイル…!?
クク…
あいつまさか
ユナの…込みを狙う気か?
なんて卑劣な
見損なったぜ…
止めるか…
だが、ここで乗り込んだら
俺まで犯人扱いだ
ガオー
グゴー
そっち!?
って…

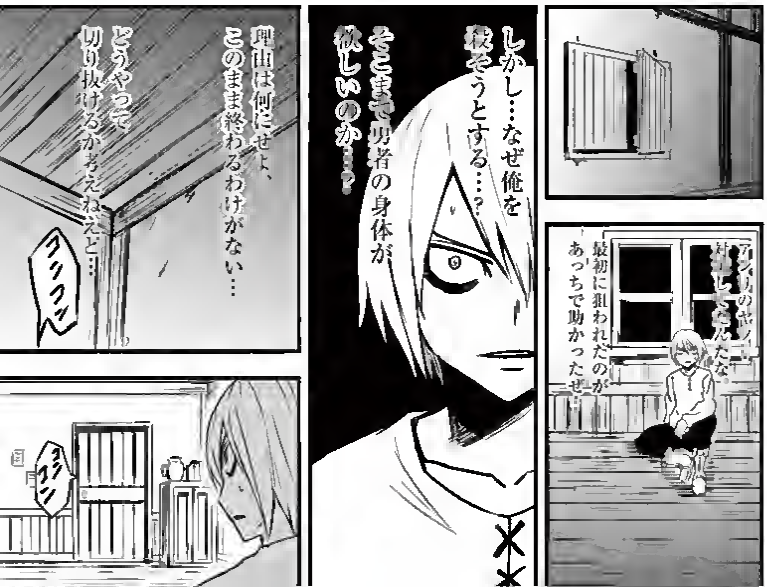
アイツ、ロリコンだったの!?
ヤツは、アンリに告白して玉砕したんだ!
3年前のことでもめてたのはこれが原因か…
アンリたーん!俺と結婚しよー。
やあ――!
…確かに、ロリコンは勇者にふさわしくねえな!
!
えっ?
なんであの首飾りを…?
君を殺す方法は二つ。
一つ、魔力を込めた攻撃で精神体が宿る頭部を狙い、それを消滅させる。
まさか…
一つ、元の肉体を破壊する。

オオオ
本気で俺を殺すつもりだったのかよ！
クソ…
させるかよ！
ヒュッ
ガッ

ズバッ
ドン
衝撃波…！
トラップかッ…！
グッ

え…ちょっ…
何よ 今の!!
生者の棺に
仕掛けておいた
防御魔術が発動した。


何者かが奪い取ろうとしたようだな。
まだ犯人は遠くへ行ってないはずだ。
待って！
急いで捜す必要はないわ。


最初に狙われたのがあっちで助かったぜ…
しかし…なぜ俺を殺そうとする…？
そこまで男性の身体が欲しいのか…？
理由は何にせよ、このまま終わるわけがない…
どうやって切り抜けるか考えねえと…
ウンウン
ウンウン

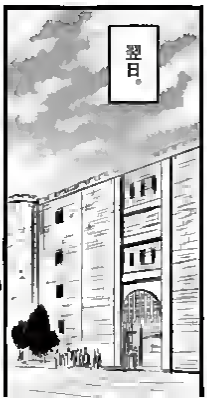
何があったか、
わかってるでしょ？
ヒラッ

ユナか…

何かあったのか？

やべぇ…忘れてた…

バカ！
ド変態！
死ね！
ぎゃあああああ!!
ゴバキッ
ドグ


翌日。

これより我々は、北東のアルダ砦跡へ悪魔共の討伐に向かう！

すでに砦跡周辺の村々は、ヤツらに滅ぼされたと聞く！

このまま放っておけば、この街も危険に晒されることとなるだろう！

だが、安心していい！

今回の遠征では、あの勇者様とカイル様が参加されることとなったからだ！

そう！我々の勝利は約束されたようなものだ！

何が約束されてるだー！

勇者の方はパチモンじゃねえかー！

昨日よりさらに偽物っぷりに磨きがかかってんじゃねーかよ！

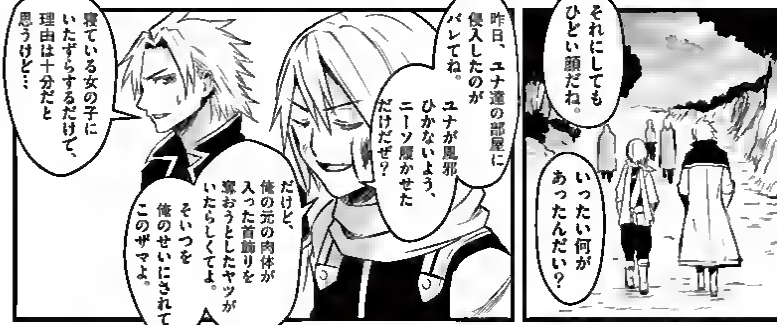
ワイワイ

ゴッ

ヒイイイ!!

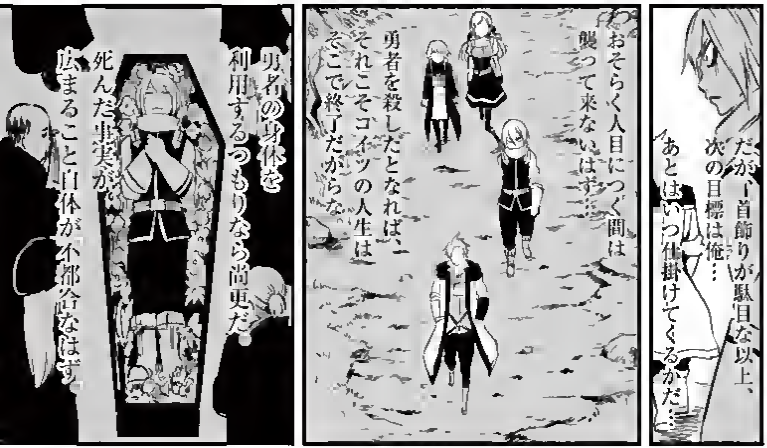
誰一人欠けることなく帰還できるよう、諸君らの健闘を祈る！

さっそく一人欠けそうなんですけど。


いったい何があったんだい？
それにしてもひどい顔だね。
昨日、ユナ達の部屋に侵入したのがバレてね。
ユナが風邪ひかないよう、ニーソ履かせただけだぜ？
寝ている女の子にいたずらするだけで、理由は十分だと思うけど…
だけど、俺の元の肉体が入った首飾りを奪おうとしたヤツがいたらしくてよ。
そいつを俺のせいにされてこのザマよ。

ただ…君の肉体を奪おうとした人物がいたってのは気になるね。
誰か不審な人物は見なかったのかい？
知らねーよ。ニーソ履かせたあと、すぐに部屋に戻ったからな。
なるほど…

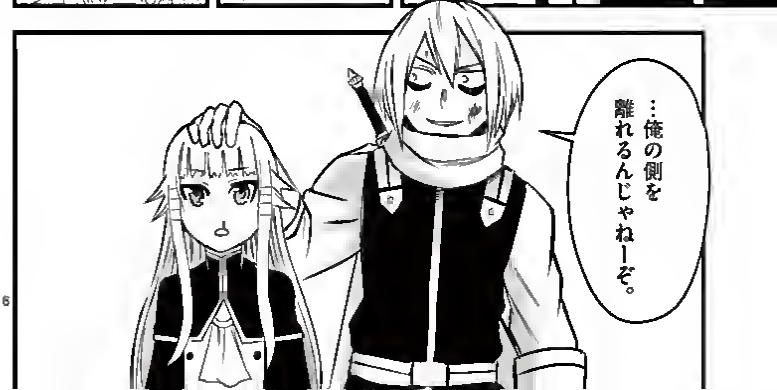
この件は放置するわけにはいかないね。
今回の遠征が終わったら、俺の方でも調べてみるよ。
おー助かるわー。



つまり、こいつと二人きりにさえならなければ、俺は殺されない！

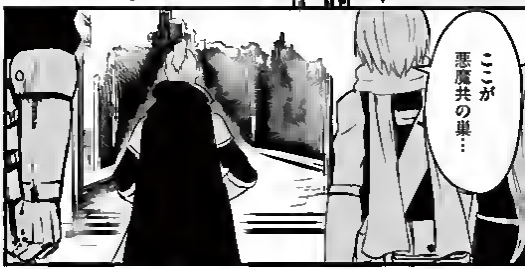
ククク…
悪いがテメーには
予定通りしっかりと
働いてもらうぜ。
悪魔討伐後は
ユナとアンリにも
事情をバラして
テメーの前から
オサラバよ！
俺を殺すチャンスは
二度と来ねえぜ！

…念のため自衛の方も
気をつけておくか
ヒラ
常にアンリと共に
行動することによって、
どちらの危機も回避させてもらう！
おい！
アンリ！
ついやり我ながら
ル壁な作戦だな
スパパパハハ！
トウカ殿、
何用だ？
ポン


…俺の側を
離れるんじゃねーぞ。

う…
うむ…
ビュオオオオオオ

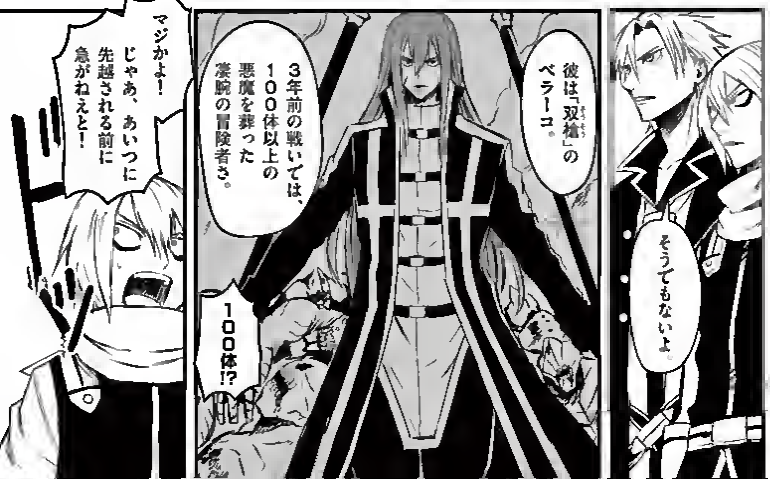
き…
緊張してきた…

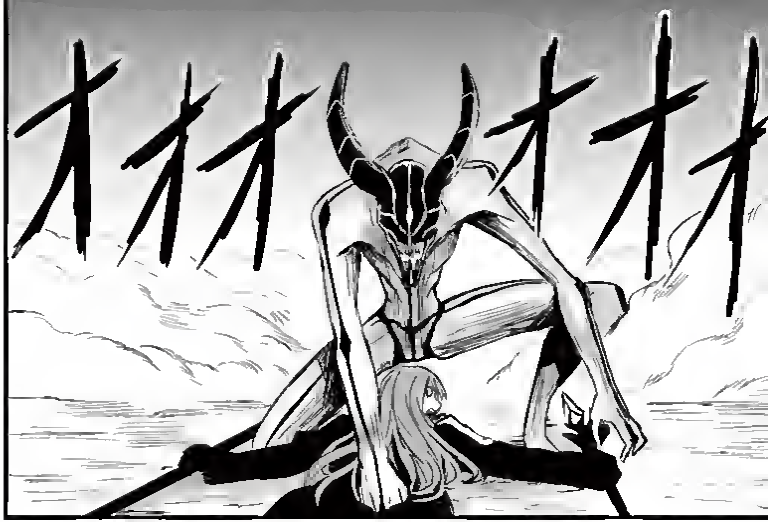

ここが
悪魔共の巣…

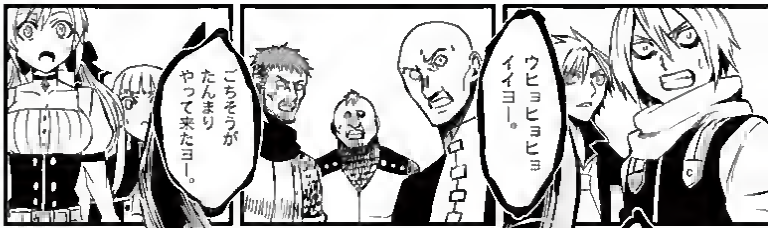
また腰抜かしたりすんじゃねーぞ。
こ…
今度はだいじょうぶだから！
ガッ

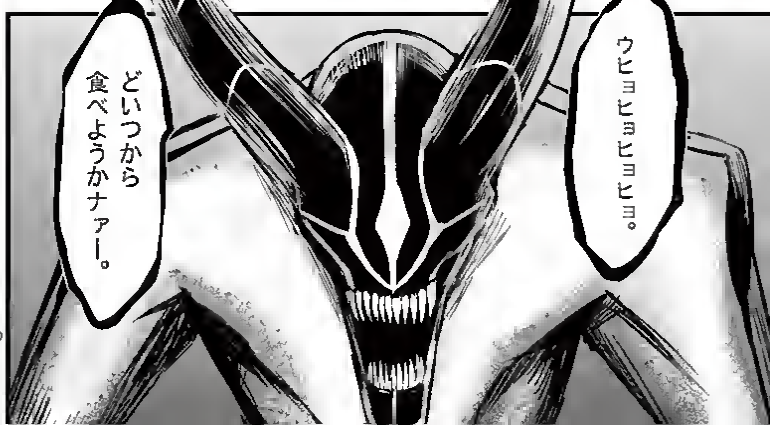
さて…
ここから俺は別行動をさせてもらう。
さっさと片付けて、その勇者の化けの皮をはがしたいんでな。

オイオイ、だからって単独行動はやめといた方がいいんじゃねえの？
こういう時、勝手な行動するヤツは決まって最初に死ぬもんだぜ。


そうでもないよ。
彼は「双槍」のベラーコ。
3年前の戦いでは、100体以上の悪魔を葬った凄腕の冒険者さ。
100体!?
マジかよ！
じゃあ、あいつに先越される前に急がねえと！

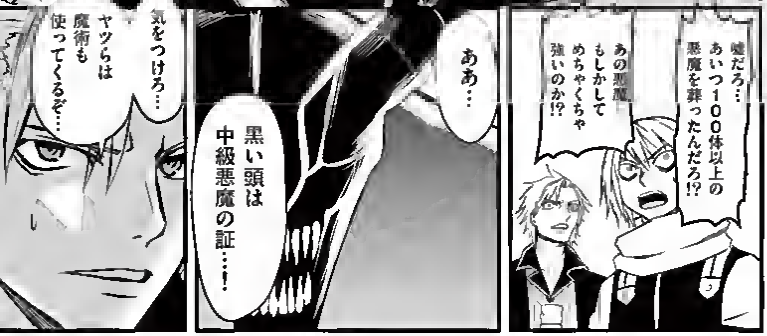

オオオオオオ


ウヒョヒョヒョイイヨー。
ごちそうがたんまりやって来たヨー。


ウヒョヒョヒョヒョヒョ。
どいつから食べようかナァー。

ウヒョヒョヒョ。
あ…
あぐ…
イイヨイイヨー。
まだ死なないでネー。
ビドンは生きたまま
食べるのが
好みだからネー

第6話▶悪魔の心臓

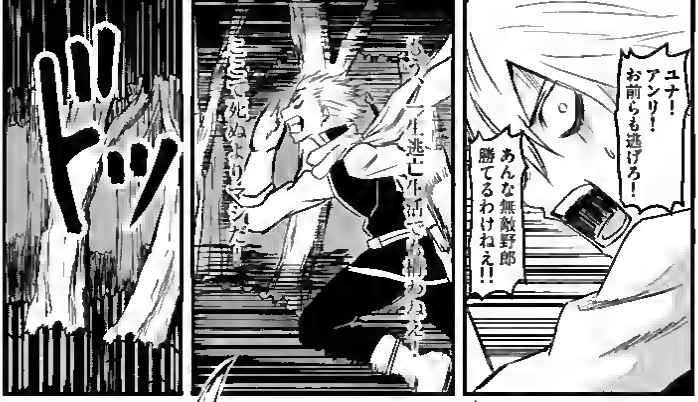

嘘だろ…
あいつ100体以上の
悪魔を葬ったんだろ!?
あの悪魔
もしかして
めちゃくちゃ
強いのか!?
ああ…
黒い頭は
中級悪魔の証…!
気をつけろ…
ヤツらは
魔術も
使ってくるぞ…

ヒュー
消えたッ!?

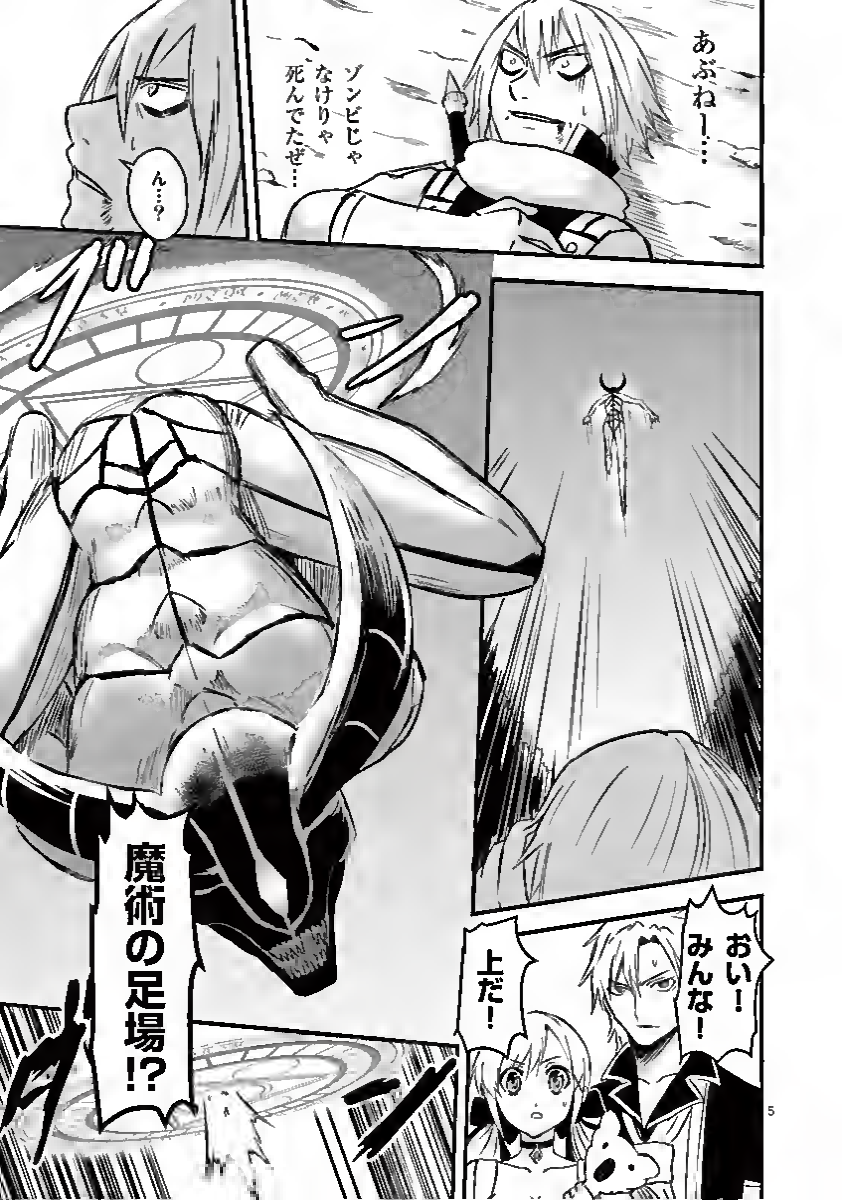
ぐえっ！
ぐあッ！
あひっ！

ひいッ！
どうなってるんだ！
あの悪魔、消える魔術を使えるのか！
こんなの勝てるわけがねえ！
俺達、ここで全滅する！
うわあああ！逃げろオオ！

どうしよう！
みんな逃げてく！
…って、
トウカまで!!


ユナ！
アンリ！
お前らも逃げろ！
あんな無敵野郎
勝てるわけねえ!!
ドッ
ドッ
ドッ

死んだらオイシクないじゃないか…
ヨクナイヨー、ピドンヨクナイヨー。
嘘…
トウカ…ッー
トウカ……!
ウヒョヒョヒョ…
みーんな逃げちゃったかと思ったけど、
まだごちそうが残ってるじゃないか。
イイヨイイヨー。
イクヨー!!
また消えた!


あぶねー…
ゾンビじゃなけりゃ死んでたぜ…
ん…？
魔術の足場!?
おい！みんな！
上だ！

なるほど…
そうやって、高速で落下攻撃を仕掛けていたってわけか。
ウヒョヒョヒョヒョ！
跳躍力も増大されるんダヨ！
タネがわかったところで、捉えられるわけないヨ！
ただでさえ、ビドンの脚力はスゴイのに！

いや…
終わりだ。
ガッ
ガッ
ガッ
ガッ
アイン・アストレス
あれ？
グルン
ヴィィィィン

脚が！

ドシュン

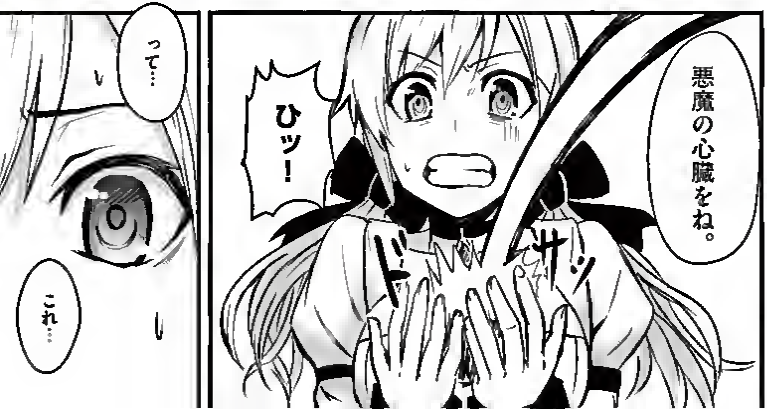
切り刻め。

ドシュン

ドシュン

ドドドドン

すごい！
あの消える悪魔を圧倒した！
あんなすごい魔術が使えるなんて！さすがカイルさん！
…って、何やってるんですか？
悪魔を倒した証を取り出してるんだよ。


悪魔の心臓をね。
ひッ！
ドサッ
って…
これ…

『魔晶石』じゃないですか！

ああ…そうだよ？

魔晶石は悪魔の心臓のことだからね。

ええ！そうだったんですか！

あれ…

こんな模様…

魔晶石にあったけ…？

悪魔の文字…

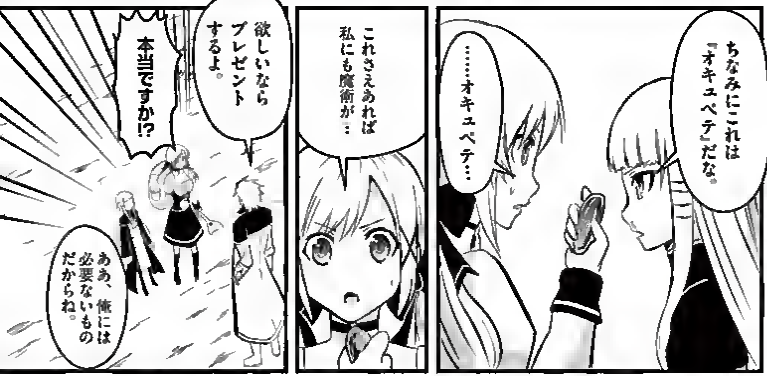
「呪文」だよ。

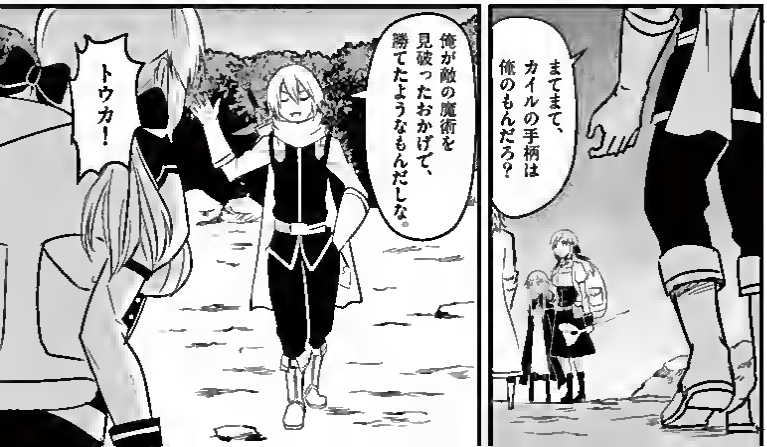
その文字を起動呪文のあと続けて心の中で唱えれば、さっきの悪魔と同じ魔術が使えるんだ。

効果は個人の魔力に依存するけどね。

ええ!?そんな簡単に使えるんですか!?

いやいや、
いくつか例外はあるけど
ほとんどの
魔術はこの方法でしか
使えないよ。
魔術とは元来
「悪魔の術」という
意味なんだよ。
へえー、
そうだったん
ですねー！
……君、確か魔術師
志望なんだよね…？

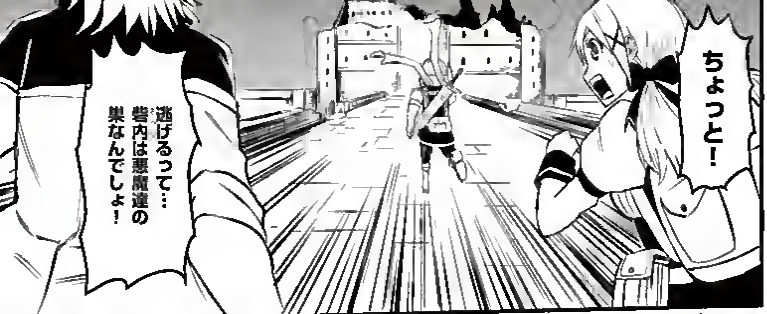

ちなみにこれは
『オキュペテ』だな。
……オキュペテ…
これさえあれば
私にも魔術が…
欲しいなら
プレゼント
するよ。
本当ですか!?
ああ、俺には
必要ないもの
だからね。


まてまて、
カイルの手柄は
俺のもんだろ？
俺が敵の魔術を
見破ったおかげで、
勝てたようなもんだしな。
トウカ！

…真っ先に逃げておきながら、よくそんなことが言えるわね！
そもそも、今さら勝ちを主張したところで無駄よ！
私達以外にもこんだけ目撃者がいるんだから！
はッ！
やられたヤツの話なんざ、誰も信じねーよ。
ドドドドド
お！
そうこう言ってたら、ちょうどいい時に戻って来たじゃねーか！
おーい！みんな！！
さっきの悪魔は俺が倒しておいたぜ！
真の勇者であるこ・の・俺がな！
勇者…
勇者ダト…

悪魔を殺シタ…？
ザッ
ザッ
ビドンが
ヤラレタノカ…？
オオオオオオ
ザコは後回しダ！
勇者を始末スルゾ！

ワイワイワイ
ひいいいいい！
なんであっちから悪魔が来てんだよ！
たまたま出かけていたのか…それとも俺達が来ることに気づいていたのか。
なんにしても、あの数はまずいな。
だ…大丈夫！
逃げた連中もみんな戻って来たんだ！ち…力を合わせて戦えば！
ふうー助かったーー
俺達のためにオトリになってくれるなんて！
さっすが勇者様だぜ！
やっぱり本物の勇者様だったんだー
勇者様最っ高おおおおっ！
ふざけんなああ！
こんな時だけ勇者扱いかよ！
チクショー！…
こうなったら…
逃げるしかねえ！


ちょっと！
逃げるって…
砦内は悪魔達の巣なんでしょ！

追って来てる連中、どー見ても20はいるだろ！
つまり砦内は、もぬけの殻ってわけよ！
でも、砦の向こう側は海なのよ！
結局追い詰められるだけじゃない！

いや…
砦内の狭い通路に誘い込めば、ヤツらも一斉には襲って来られない！
そういうことだね、トウカ君？

ま、まあそういうことだな！
なるほど！流石だな！トウカ殿！
勇者を超える策士！

逃げることしか頭になかったけどな！

しかしカイルが戦う気なら好都合だ。

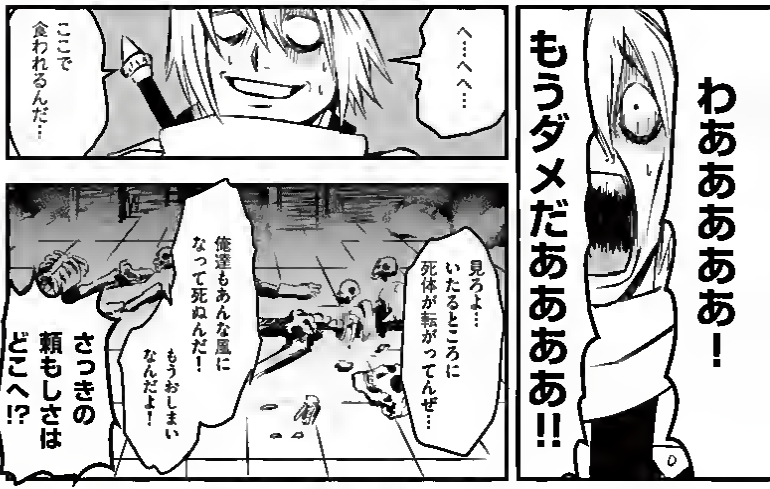
ヤツをオトリにして俺達はそのままトンズラよ！

フッ…完璧すぎる計画！

やはり俺は、勇者を超える策士だったか…！

オオオオオオオオオオ
ようこそニンゲン。
オレ達の食事場に！
あれえええッ！
なんでこっちにもいるの!?

どうしよう！
挟み撃ちにされちゃうよ！
後ろと前…合わせて30はいる…
流石にこの数は想定外だったね…


わあああああ！
もうダメだあああああ!!
へ…へへ…
ここで食われるんだ…
見ろよ…いたるところに死体が転がってんぜ…
俺達もあんな風になって死ぬんだ！
もうおしまいなんだよ！
さっきの頼もしさはどこへ!?

どうやら数はこちらが上のようだな。
ふむ…

へへ…
アンリは現実逃避か…？
わかる…わかるぜぇその気持ち…
俺もいきなり謎の力に覚醒して、無双する未来が見えてきたわ。
へへ…
悪魔に殺された者達よ！
救せ…
これより貴公らの死を冒涜する。
アイン・ゲーデ
ズッ
ズッ
ズッ
トウカ殿に使ったのが憑依屍術。
ズズズ
そして、これがもう一つの屍術…
ズズ

オオオオ
『遠隔屍術』!!

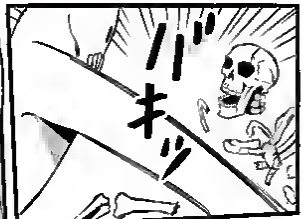
我がしもべ達よ！
悪魔達を蹂躙せよ！

なんだ コイツラ！
骨の…戦士…
ダト……！
第7話 ▶ 形状変化

ドン
見よ！
この数！
我が軍の
圧倒的優位だぜ！

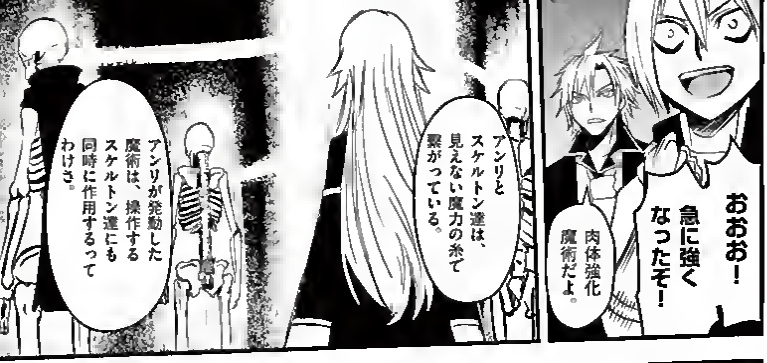
うおおおお!!
さっすがアンリ！

骸骨戦士…
むっちゃ
弱いんだけど…
バキッ
ボキッ


おい…
バキッ

ボキッ

問題ない。
〝アイン・グレンデル〟！
グッ
オッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ


おおお！
急に強く
なったぞ！
肉体強化
魔術だよ。
アンリと
スケルトン達は、
見えない魔力の糸で
繋がっている。
アンリが発動した
魔術は、操作する
スケルトン達にも
同時に作用するって
わけさ。

ただ、そのぶん
魔力消費も激しい…
俺達も加勢するぞ！
お…
おい…！
俺は戦わなくて
いい約束だろ…！
だいたい俺達、
魔術なんてまともに
習ったことも
ねーんだけど…

落ち着くのよ…
私…
大丈夫…
ユナもダメっぽいな！
私なら勝てる…
どいつなら勝てる…
俺でも勝てるんだ…！
ビ
チャ
え？

いやあああッ!!
シュウウウ
腕がああああッ!!
やべえええ!
ズン
ズン
中級悪魔に狙われた!
あの溶解液がヤツの魔術か!?
頭だったら即死してた
まずい!
また来る!
え!?
まずい!
ユナ!
避けろ!

そんな……ユナが……
ユカが骨に……
っ……
ビリッ
ビリッ
いやあああああ!!
なにこれえええええ!!

な…なにこいつ…
服だけ溶かした…!?
おおお!?
あの悪魔…
グヒ…
グヒヒヒ…
オンナ…
ハダカ…
スキ…
紳士…!
いやあああああッ!!
ドドドドド
おい!
ユナ!
どこ行くんだ!
クソ…
はぐれちまうのはまずい…
どうする…
カイルから目を離していいのか…!?
9
色んな意味でッ!!
いや
今はユナを追わねえと!

うう…
なんでよ…
なんで…
私が
こんな目に…
はあ…
悪魔見るだけで
身体壊んじゃう
なんて…
これじゃあ、
トウカより
足手まとい
じゃないの…
呼んだか？
きゃあああああっ!!
待て！
俺は！
悪魔じゃ……！
ゴッ
見るな
あああああ！
ま…
待て！
こんなことも
あろうかと、
ユナの着替え
持ってきて
おいたぜ！
ホント！

…って、これ…
ぱさ
水着じゃない！
ん
それしか
ねえんだから
仕方がねえだろ？
それとも…
死臭漂う
俺の上着で
いいなら
貸してやっても
いいけど？
それは
絶対イヤ！
グヒヒヒ…
オンナ…
ハダカ…
ドコダ…？
く…
来る！
ど…
どうしよう……！
形状変化…
斬……！

それって、巨大な剣になるだけじゃなかったの!?
どうやらこいつは、脳内でイメージした様々な姿に変化させることができるらしい。
ま、単純な形だけだけどな。
相変わらずフニャフニャだし……

俺だって命懸かってんだ。早起きして、色々と準備してたんだぜ。
ユナも、いい加減ビビってねーで覚悟決めろよ。

俺をいつもこんだけボコボコにしてんだ。
悪魔くらい楽勝だろ!
…
トウカのクセにエラソーに…
腹立つわね…

見つけた…
ズン
ズン
グヒヒヒ…

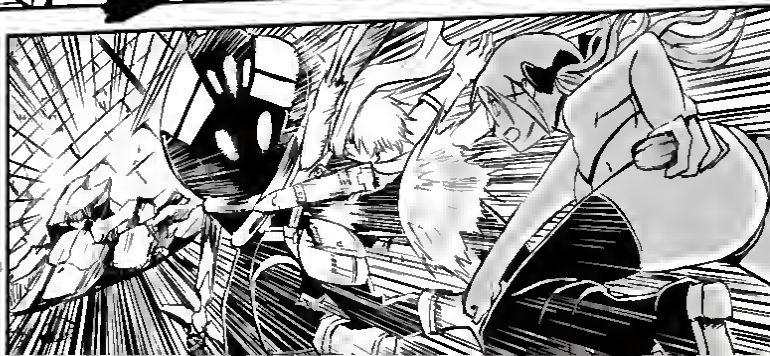
動きは封じたぜ！
自慢の溶解液も使えまい！
グヒヒヒ！
こんなふにゃふにゃ…
グ
ナ…
ナニ…!?

グッ！
え!?
どうなってるの!?
アンリが言ってたろ？
こいつは俺の手から離れると元の硬さに戻るんだ！
1分くらいで形も元に戻っちまうけどな…
ギチ
ギチ
……
やっちまえ！
さあ！ユナ！
今がチャンスだ！

ウグ…
ニーソ…
オンナ…
服…溶かス…
ハダカニーソ…
見たイ…
ハダカニーソだとおおおお!?
クフー
ニーソを外すとは…
こいつ…
わかっていやがる。
本物の紳士だ!
やはり中止だ!
この悪魔…
俺達の味方だ!
何がハダカニーソよ…
何が味方よ…

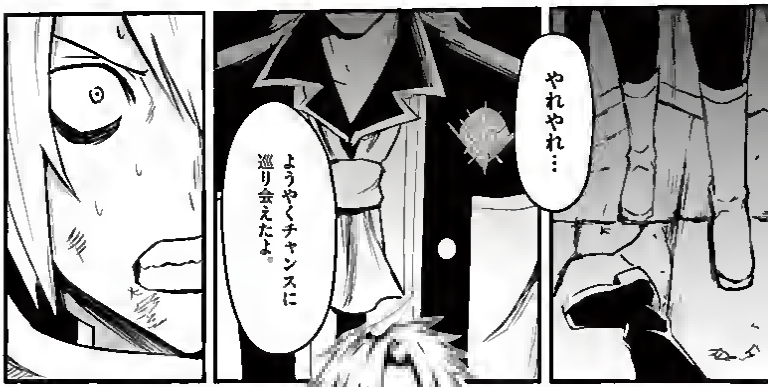
こっちは本気で
悩んでたのにいッッ!!
プルン
アイン・オキュペテ!
ダン
どっちも…

敵よ！



やった…
ドーン
やったわ私！
悪魔を倒せたわ！
ば…
バカな…
ハダカ…
ニーソが…
この調子で
じゃんじゃん倒して…
なーんだ！
悪魔って
案外弱いのね！
それとも、私の
魔術師としての
才能が凄いって
ことかしら？

ドッ
ユナ!!


やれやれ…
ようやくチャンスに巡り会えたよ。

さあ、トウカ君。
君には死んでもらおうか。

ユナ！
嘘だろ…!?
返事をしろ!!
ユナッ!!

第8話 ▶ 人間の価値

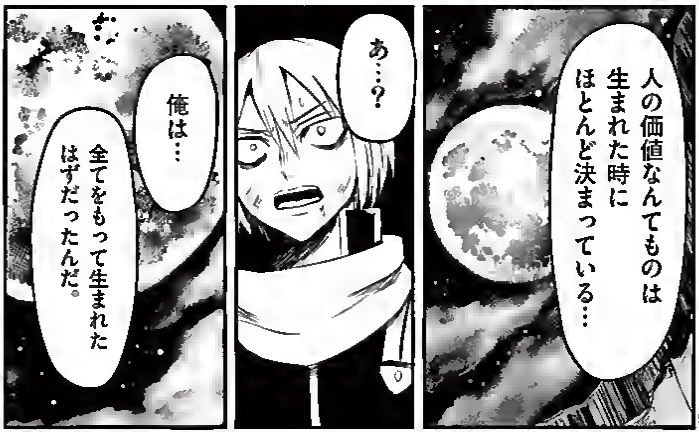
大丈夫、
気絶しているだけだよ。
俺は女の子を傷つけるのが嫌いでね。
殺したりするなんてもっての外だよ。

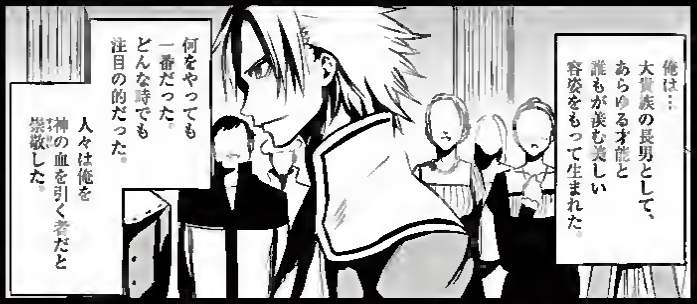
ハッ！
寒中に俺を殺そうとしたヤツが、今更善人気取りかよ。
へえ、
気づいていたんだね。
話したところで、信用されるのは俺だろうしね。
それでも黙っていたのは、俺を利用するためかな？
魔力レベル1の君らしいなかなか賢明な判断だよ。
それに…
テメーの相手は俺一人で十分なんでな！
信用もクソもねーよ。

ガン
ギチ
捕らえたぜ！
テメーをこのまま崖に突き落とす！
ギチ
ギチ

ははは…
安心していいよ。
魔力を注げば
戻るから。
いや、君にはもう
必要ないか…
なあああああ!?
せ、聖剣が…!!
コン
手を離して
硬質化…
面白い
発想だね。
これ。
だけど…
のばせばのばすほど
強度は落ちるんだよ、
嘘だろ…
悪魔は
捕らえられたのに!
そんな雑兵を
同列に考えないで
欲しいな。

俺は
勇者の仲間…
英雄の一人だよ。
は…
そうさ…
俺は勇者の
仲間…
所詮はその程度に
過ぎない…
ははは…
ははは！
勇者じゃ
ないんだ！

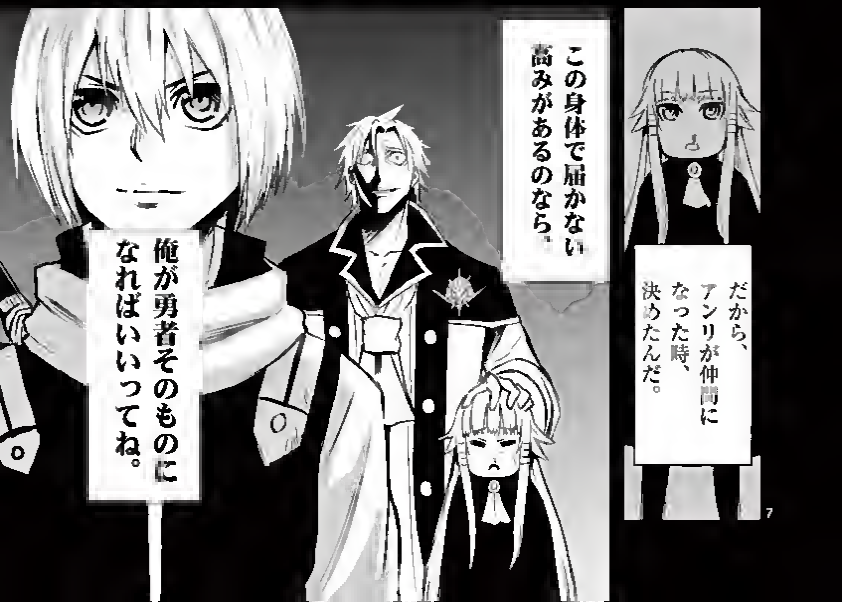

人の価値なんてものは
生まれた時に
ほとんど決まっている…
あ…？
俺は…
全てをもって生まれた
はずだったんだ。


俺は…
大貴族の長男として、
あらゆる才能と
誰もが羨む美しい
容姿をもって生まれた。
何をやっても
一番だった。
どんな時でも
注目の的だった。
人々は俺を
神の血を引く者だと
崇敬した。

――そう、
だからこそ
あの日…
聖剣を抜くのも
俺のはずだったんだ。
俺を知る
誰もが皆、
そう信じて
疑わなかった。
俺以外に
ふさわしい者が
いるわけがなかった。

ゼー
ゼー
抜けない！
何故だ！
何故抜けない！

だが…
俺以上の存在が
現れた。
それが
シオンだった。
人間離れした
身体能力と
戦闘のセンス…
出会った者
全てを惹きつける
カリスマ性…
まさに聖剣に
選ばれるべくして
選ばれた人間だった。

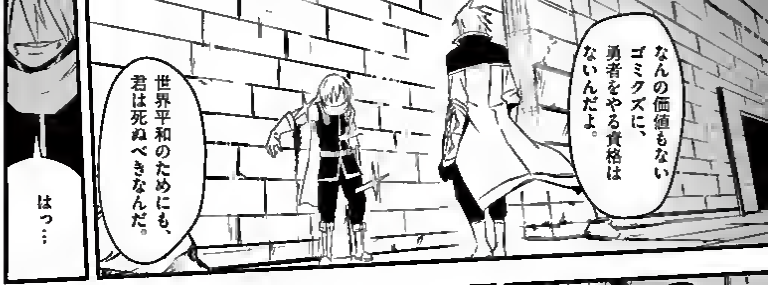

だから、
アンリが仲間に
なった時、
決めたんだ。
この身体で届かない
高みがあるのなら。
俺が勇者そのものに
なればいいってね。

アンリを騙すのは簡単だ。
あいつの屍術で俺は悪魔に乗り移り、勇者を殺すために何度も襲った。
結果は全て失敗だったけどね。

だからね、ようやくだよ。
この時をどれだけ待ちわびたことか。
ようやく俺は完璧な存在になれるんだ。

…なるほどな。
勇者が好きすぎて、勇者そのものになりたい…
イカレホモ野郎だったってわけか。

君！
話を聞いてたのか！
いやいや、聞いてたぜ。
生まれた時に価値は決まるか…
いかにも貴族のお坊ちゃんが考えそうなことだぜ。
君のような何も持っていない出来損ないには認め難い事実なのかもしれないが、
これは真理だよ。
実際に君は、勇者の身体を手にしたというのに――
手もッ！
足もッ！
出ないッ！


なんの価値もない
ゴミクズに、
勇者をやる資格は
ないんだよ。
世界平和のためにも、
君は死ぬべきなんだ。
はっ…

俺は傭兵崩れの
ゴロツキの息子でな。

ろくな教育も
受けてねーし、
運動神経だって
たいしたことねえ。

おまけに
魔力まで幼児並と
来たもんだ。
テメーの考えじゃ
最底辺の出来損ない
だろうよ。

だけどよー。
周りから
どう思われ
ようが、
俺は俺自身に
価値を
見出だしている。
俺は俺自身を
嫌ってねえ。
勇者の身体に
なったのも、
俺にとっちゃ
不幸でしか
ねえんだよ。

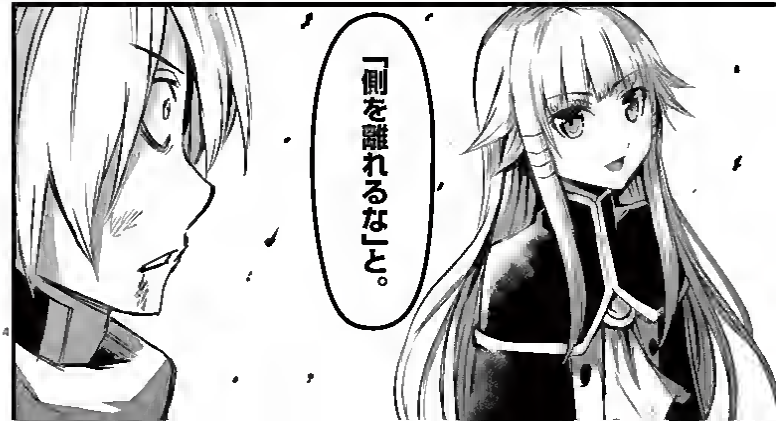
それに比べてなんだテメーは。
完璧な存在になるため勇者になりたいだぁ？
自分を捨てようとしている人間に、
見下される筋合いはねーんだよ！
ははっ。
それが君の最期の言葉かい？
出来損ないの言葉なんて、
まったく響かないね。

ユナ！
これで少しは響くようになったかしら？
トン
どう？
ユナ！
何故目覚めている…！
な！
鍛え方が違うのよ！
ホントな。
ホント違うっつーか魔術師としては間違ってるよな。

そのまま眠ってれば良かったものを…
君達のような出来損ないが束になったところで、この俺にかなうはずが…
ヨロ
ジャッ
ジュウウ
ドン
いやあああああ!!
なにこれえええええ!!

ズズ…
ふむ…
威力の調整が難しいな…
アンリ！

ど、どうして君が……！
まだ…戦っていたはず……！
トウカ殿に言われたからな。


「側を離れるな」と。

約束したからだと…!?
そんなふざけた理由で、あの数の悪魔を倒せるわけが…!

第9話 ▶ アンリの心臓

フ…
本当は半数以上減らしたところで、他の参加者達が駆けつけて来てくれたのだ。
この数なら俺達でも勝てる!
ヒャハー!!
手柄は俺達のもんだ!
あいつら…素直に喜べねぇ…
カイル殿…

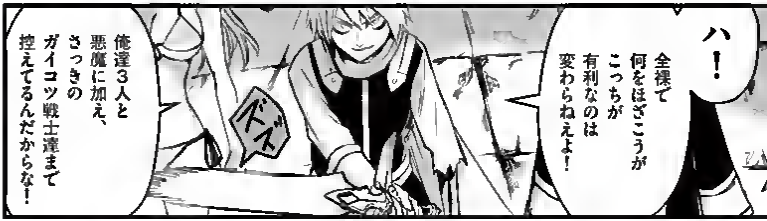
何度も言うが、貴公に勇者の身体を渡す気は毛頭ない。
このまま立ち去るのなら命だけは見逃そう。

ハハハ！
よくそんな台詞が言えたものだね！
今まで見逃してやっていたのはこちらだというのに！
俺は女の子が大好きでねぇ。
こんな回りくどいことをしていたのは、君を傷つけたくなかったからなんだよ。
君の同意の上で勇者になろう…
そう思っていたんだよ。
でも…
忘れていたよ…
君達屍術師の一族は人じゃない…
アンリの心臓は魔晶石。

人の皮を被った
悪魔だってことをね！

え…
悪魔って…
え…？
いくら俺でも
流石に
悪魔の女の子は
愛せないからね。
だから俺は
君を殺すことに
決めたよ。

殺して君の心臓だけを
頂くことにするよ。


ハ！
全裸で
何をほざこうが
こっちが
有利なのは
変わらねえよ！
俺達3人と
悪魔に加え、
さっきの
ガイコツ戦士達まで
控えてるんだからな！
ズズ

…って、
あれ…？
ガイコツ
戦士は…？

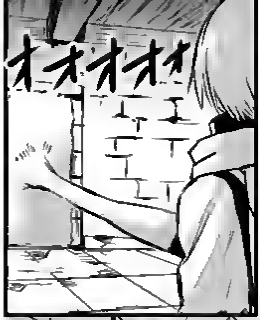
置いて来た。
え…？

ハハハ！
さすがにアンリの魔力量でも
限界に近いというわけか！

まあ
出来損ないが
何体いようが
神の恩恵を
受けて生まれた
この俺の足下にも
及ばないがね！
剣が…
あんなに
たくさん…！
ほう…
そう
来るか…
なら
こちらは…
逃げる！
……

ちょっと！
なんで逃げるのよ！
あの剣すげぇ速さで飛んで来るんだぞ！
あんな数まともにやってねーだろ！
勝てるわけ
ギュン
ヒィッ!!
ビ
え
なんでえええっ!?
ハーカニー
ソナタ!?!?!?

くそッ！
またかよッ！
ギィオオオオ
ガガガ
かわしたか！
な！
だが、次の直線で……！
いない!?


オオオオ

都合良く部屋があって助かったぜ。
いやー、

〝壁〟!!
こっちか！
くそっ！
形状変化…

んて、
アンリ。

信じられない、あの男…
全裸で追って来るし…
ただの変態じゃない！

テメーが悪魔って話はホントなのかよ。

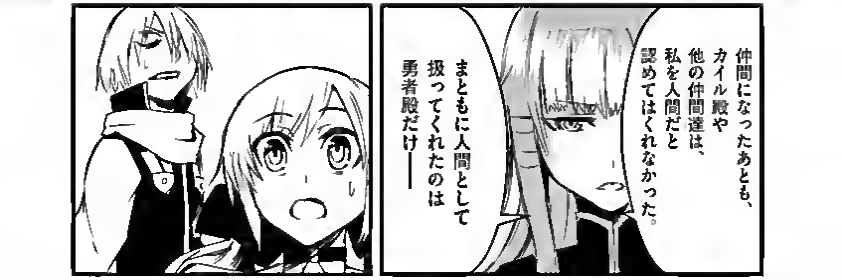
心臓が魔晶石であることは事実だ。
この白い髪と赤い瞳も…
すべて地獄の環境に適応していく過程で変化したものだ。
地獄!?
地獄ってことは、じゃあ…
ズズ
私は地獄から来た…
しかし悪魔ではない。
私は遠い昔、
門の向こう側に閉じ込められた人々の子孫なのだ。

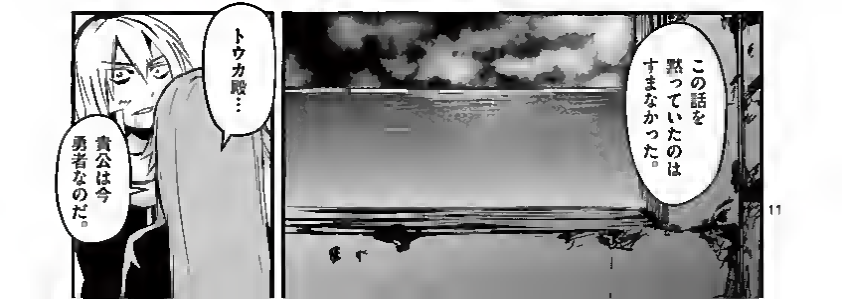
地獄で
生まれた人間…!?
じゃあ、
カイルはなんで
あんなことを…
……

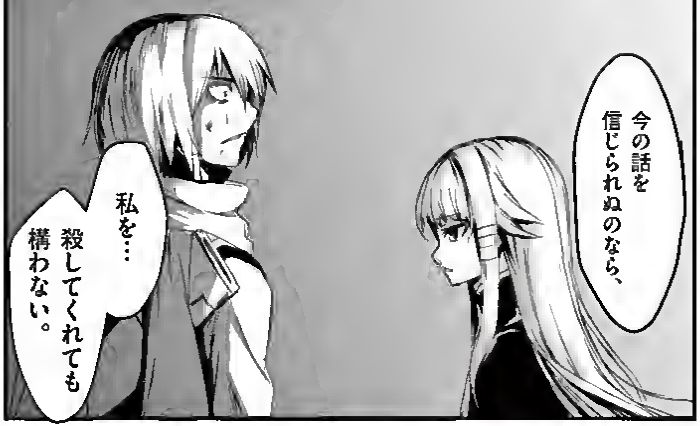
3年前――
私達が悪魔だと
断定されたからだ。
悪魔め!
騙されないぞ!
狼を返して!

グオオオオオオオ
門の向こう側からやってきた
異質な力と姿を持つ存在。
違う!
我々は人間だ!
助けてくれ!
悪魔への恐怖心から、
私達を人間として
受け入れることが
できなかったのだろう。

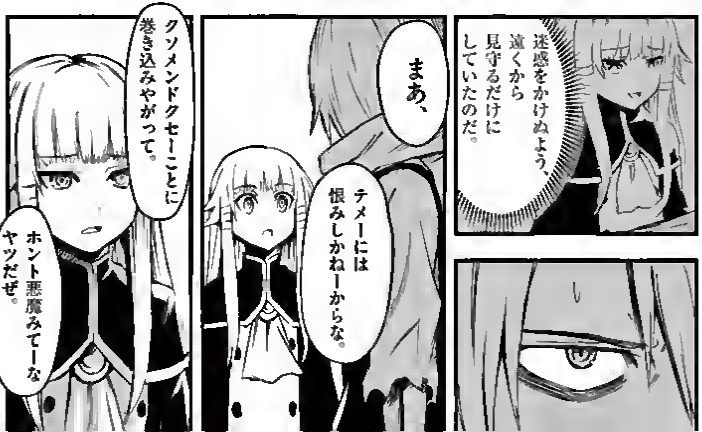
仲間は次々と
殺されていった。
私も――
勇者シオンに
出会っていなければ、
生きては
いなかっただろう――


仲間になったあとも、
カイル殿や
他の仲間達は、
私を人間だと
認めてはくれなかった。
まともに人間として
扱ってくれたのは
勇者殿だけ――


この話を
黙っていたのは
すまなかった。
トウカ殿…
貴公は今
勇者なのだ。


今の話を
信じられぬのなら、
私を…
殺してくれても
構わない。

そうでなくとも…
今後も私の命を
狙ってくる輩は
現れることだろう。
勇者殿の遺志を
継いでくれるのなら…
私はいない方が…


迷惑をかけぬよう、
遠くから
見守るだけに
していたのだ。
まあ、
テメーには
恨みしかねーからな。
クソメンドクセーことに
巻き込みやがって。
ホント悪魔みてーな
ヤツだぜ。

しかしだ。
テメーも将来
ムッチリ
フトモモ美少女に
なるかもしれねぇ。

どっちにしろ世界
救わなきゃ
なんねーんなら。
テメーの成長を
側で見守ってね—と
損だよな。

も、もし
フトモモ美少女に
なったら
どうなるのだ!?
そりゃお前…
村で俺と一緒に
スローライフをだな…
な…
なるぞ、
私は……!

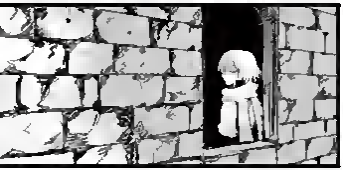
フトモモ美少女になって
トウカ殿と
ずっと一緒に
いるんだ！
そんな最低な
理由でいいの!?
ほう、
言ったな
アンリ…
なら契約書に
サインを。
フム
いい加減に
しろォ！

私も
アンリちゃんを
信じるわ。
短い付き合いだけど、
アンリちゃんが
嘘をつくような人には
思えないし。
ドリュッ
一緒に、
勇者様の
代わりを
果たしましょ！
ブッ
ユナ殿…！
それで…
どうするのよ。

ぐにゅ～ん
こんなやわらかい壁、
すぐに気づかれちゃうわよ。
そうだな…
そろそろ
本気を出すか。
ドン
それ、ダメ人間の
決め台詞!!

アンリ、
その悪魔はあとどれくらい操れる？

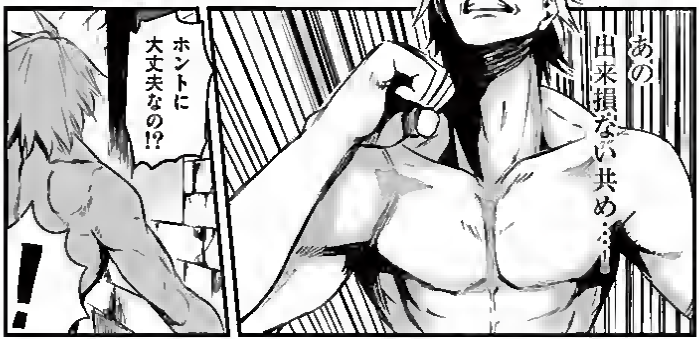
第10話 ▶ 趣味



ヒュオオオオ
十分だ。

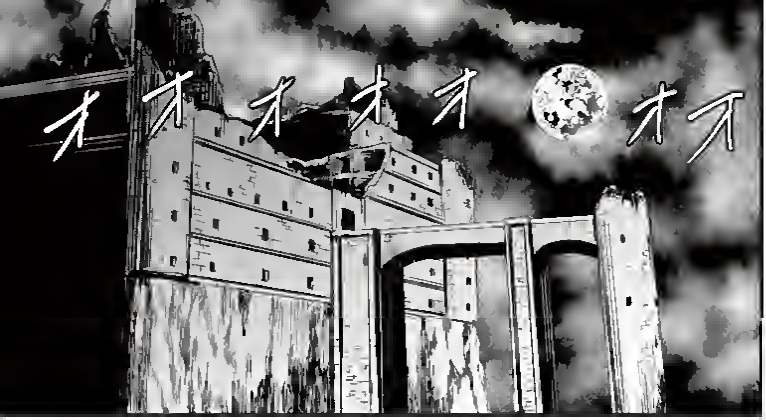
おそらく通常の操作で10分…
こやつの魔術を使うとすれば4、5発放ったところで魔力は底をつくだろう。

クソ……！
どこだ…
どこへ消えた！


あの出来損ない共め…
ホントに大丈夫なの!?
！

大丈夫だって、ここならバレねぇだろ。

見つけた。

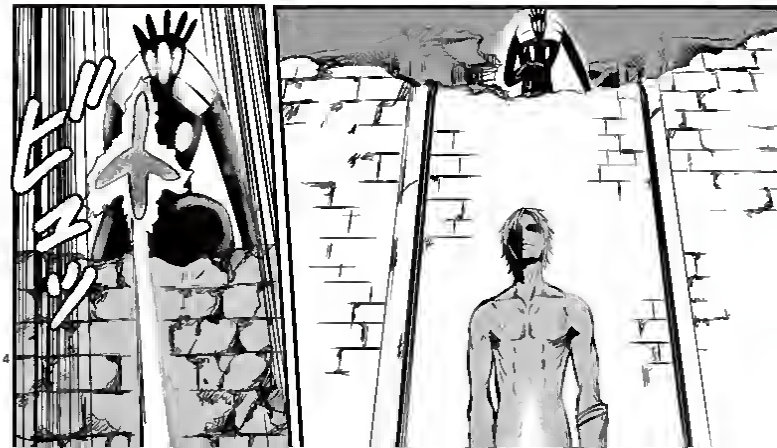

オオオオオオオ

何が大丈夫よ！
こんな場所…追い詰められたら終わりじゃない！
うむ…やはり素直に入り口から逃げた方が…
！

…き…
来た！

わざわざ
行き止まりに
逃げ込むとはね。
やはり
オツムの足りない
出来損ない
というわけか。

だが、
優秀な俺は
油断しない。
罠である
可能性も…

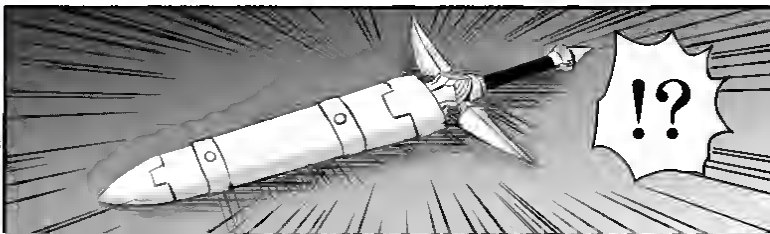

ヒュッ

やはりな！
クソ！
外した！
ビシャッ
ドゴッ
ヒュン
ヒュン

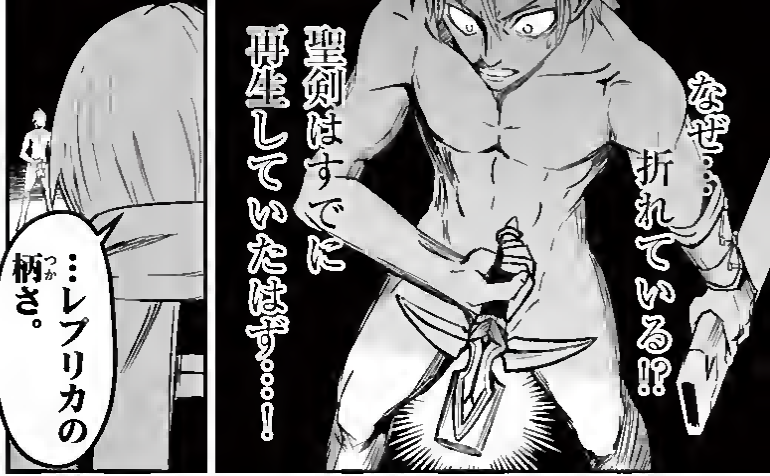
ぐ…
アンリ！
ガクッ
アンリの魔力は限界か…
あいつ達人相手に
勝せるようなヤツじゃない。
もうムダだとは思うけど、
言わないと
気がすまないだろう。

残るは二人。
次は接近戦。
たとえ魔術で
援護してきても、
その間に貰っちゃうだ。

もう一人の出来損ないは論外…
ヤツの武器は
決定打に欠ける聖剣のみ…


!?

ひいいい！
こ、降参だ！
ア、アンリはやるから、俺の命だけは助けてくれ！
うぅ…
ゴミクズ！
ハハハ！
俺としたことが、出来損ない相手に警戒しすぎていたようだね。
やはり俺の足下にも及ばない、取るに足りない存在だったというわけか。
これでようやく聖剣も俺のモノ。
あとは身体を頂けば…
!?


なぜ…
折れている!?
聖剣はすでに
再生していたはず…!
…レプリカの
柄さ。

何かに使えるんじゃ
ねーかと思って、
懐に忍ばせてたんだよ。

ハハハ。
結局、使い道が
なかったみたいだね。
ガラン
それで
本物は?
まさか隠し場所を
教える代わりに、
命を見逃せとでも
言うのかい?
いやいや、
隠してなんか
いねえぜ?

そうか。本物の味はあの悪魔で溶かしてっ！
まずい…！
強度が…！
特に一番のお気に入りの罠が…
罠作りが趣味でなァ。
オオオ
俺はよお、
オオオ
レプリカはテメーをその場所におびき寄せるためのエサ…
ピッ
!?

ふん
!?

ぐにゃ
落とし穴だ。

トウカ殿の魔力レベルは1。
幼児並だ。
この…
ぐにょん

出来損ない共がああああッ！

ジャキン
ハ！
ドガーン

どうやら俺達みたいな出来損ないでも、

テメエの足下くらいには及んでいたようだな。

ザパーン

海の底で騎(わこ)ってな。

変態ホモ野郎。

ザパーン

勇者様だ！！

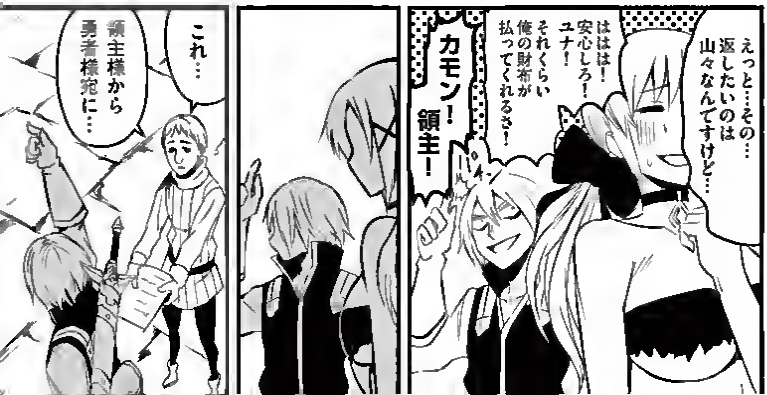
勇者様が帰ってきたぞ！

ワアアアアアア

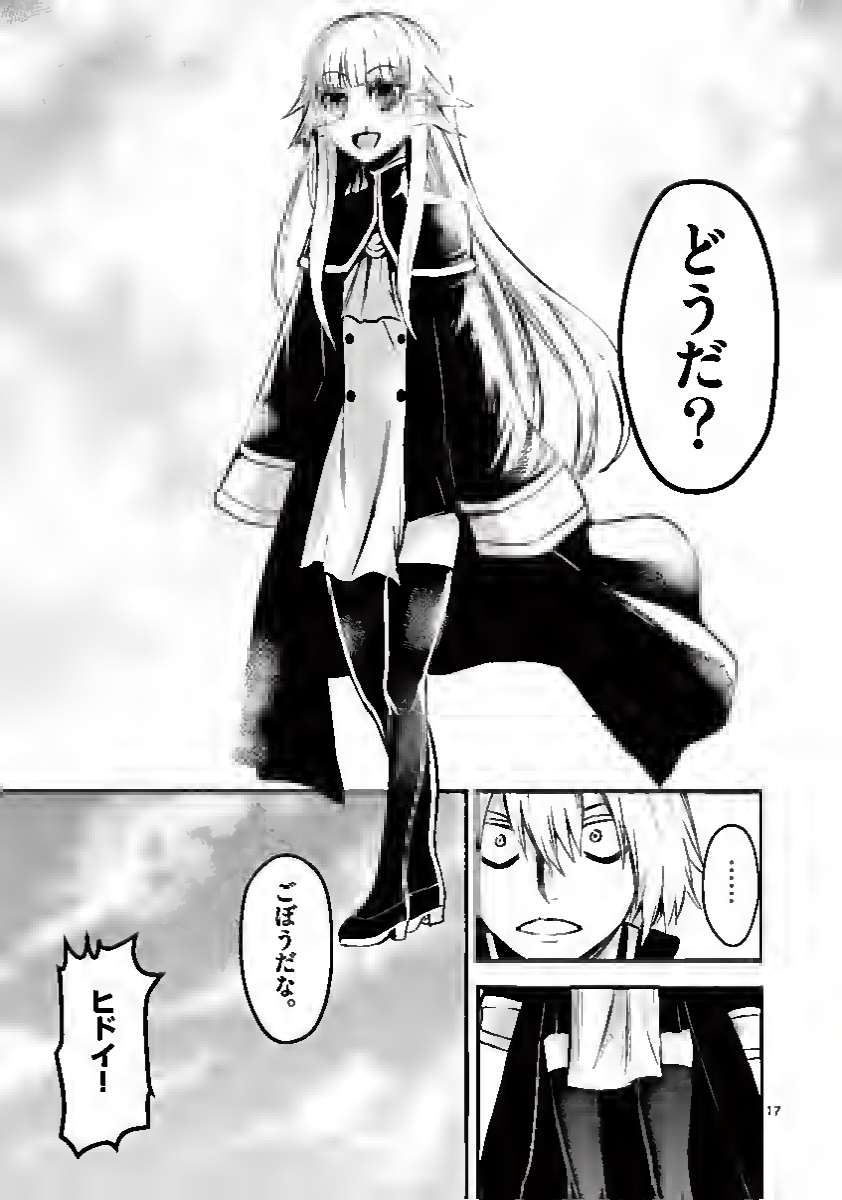
いやー、大活躍だったそうですねぇ！
信じてましたよ！あなたが真の勇者様だと！
そりゃあ良かったぜ。
俺を奴隷にしようとしたことへの償いは、たーっぷりしてもらわねえとなあ？
ひいいいい!!
ジャラ
ジャラ
うふふふ。
ヒョイ
あ！
魔晶石がこんなにいっぱい。
これで私も大魔術師ね！
10個だね。
はい、報酬の300万クルーク。

ちょっとー
それ私の魔晶石よ！
返しなさいよ！
魔晶石は
悪魔を倒した
証明として、
依頼者が
受け取ることに
なってるのです。
買い取りたいの
でしたら、一つにつき
30万グルーク支払って
いただきます。
そんな！

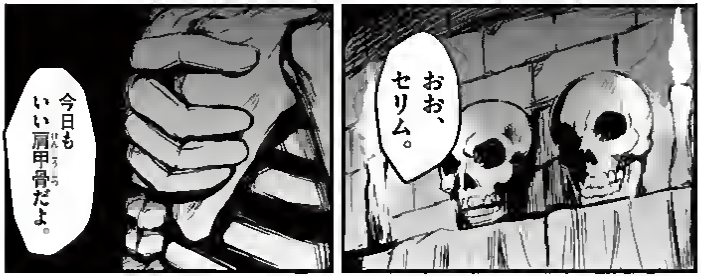
じゃあ…
一つだけでも…
ヒョイ
3000万しか
ないじゃないか！
残りの7000万が
払えないのなら、
杖を返してくれ！
杖……
溶かした……!!

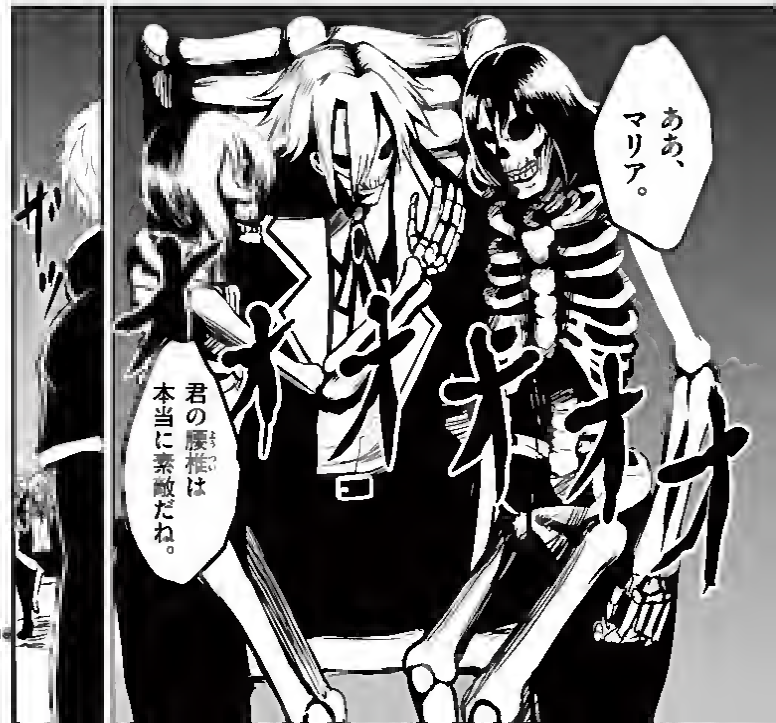

えっと…その…
返したいのは
山々なんですけど…
ははは！
安心しろ！
ユナ！
それくらい
俺の財布が
払ってくれるさ！
カモン！領主！
これ…
領主様から
勇者様宛に…

しばらく旅に出ます。
捜さないでください。
領主
領主ううううう!!
700万!
うちの飲食代!
ウチのもだ!
いやいや!
待ってくれ!
金を返す
アテならある!
アテって
どこにあるのよ!
王都だ!
ドン
国王から
たんまり
ふんだくる!
……
そういや、アンリは
どこ行った?
トウカ殿!
トウカ殿!
靴下を
買ってきたぞ!


どうだ？
……
ごぼうだな。
ヒドイ！

王都地下


おお、
セリム。
今日も
いい肩甲骨だよ。


ああ、
マリア。
君の腰椎は
本当に素敵だね。
ガッ
ボオオ

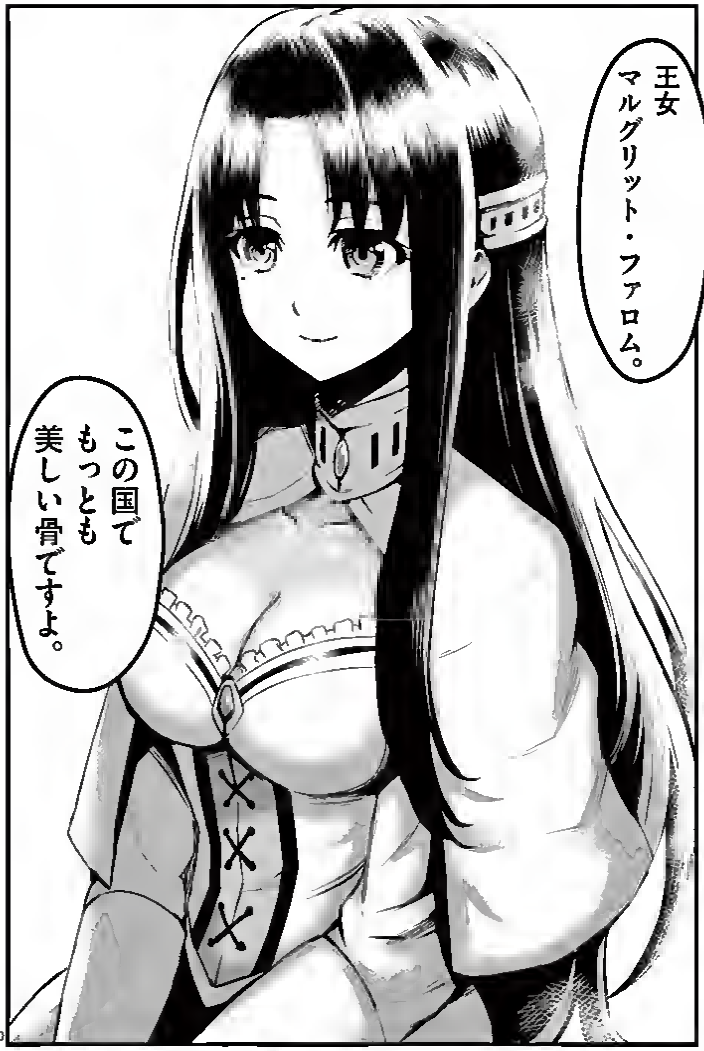
お楽しみのようだな。

ああ、
ダラッ

ええ、夢が叶いましたよ。
こんなすばらしい力を授けてくれるなんて――
貴方は本当に気前がいい。

その力で好きに暴れてくれれば、それでいい。
ズッズッ

それで次は誰を狙うつもりだ？
ダラッ



——勇者が死んだ！1・完——

スースーするな。これは。
アンリちゃん…こんなヤツのために無理してニーソ履かなくていいのよ。
こんなヤツってなんだよ！

パンツだって見えちゃうかもしれないし。
フハハハ！華麗に押さえるから問題ないぞ！

ヒュオオオオ
わー！風！
ぱの

ベチ
わー！！
寒さで鼻水の量が増えた。
汚ェ！

オマケ！
アンリ

3年前――
下級悪魔だ――！
ドッ
まかせろ！
スゲエ！
あのベラーコって男、
もう50体目だぜ！
ただ者じゃねえ。
ビッ
中級悪魔が
出たぞ――！
なるほどな…
動きは
見切った…
ビッ
ヒュー！
ベラーコさん
カッケェー！
やっちゃって
ください！
いや…
俺が相手する
までもない…
ビッ
ビッ
『双槍のベラーコ』
下級悪魔のみを
100体以上
倒した男――

勇者様ー！
村を救ってくれて
ありがとう！
い、いえ当然のことを
したまでですよ。
今日は
村に泊まって
いきませんか？
色々サービス
しちゃいますよ。
さ、サービスだなんて！
ちょっと
やめてください！
クソ…
シオンばかりが
注目される…
それにしても
あの女性はなんだ！
シオンに
ベタベタと……
シオンの右腕
であるこの俺を
差し置いて…
サービスくらい
俺にだって…！！
バッ
やめてください。
3年後、
シオンはカイルを
パーティーから
外した。

勇者が死んだ！①

裏少年サンデーコミックス

ISBN978-4-09-126139-7

2015年5月17日初版第1刷発行

著者　スバルイチ
©Subaruichi 2015
発行者　佐上靖之
印刷所　図書印刷株式会社

Printed in Japan

「裏サンデー」2014年12月16日配信分～2015年2月24日配信分掲載作品
連載担当／石橋和章／白水美咲
単行本編集責任／縄田正樹
単行本編集／白水美咲／宗像千華（アイプロダクション）

発行所　（〒101-8001）東京都千代田区一ツ橋二の三の一
TEL 編集03(3230)5480　販売03(5281)3556
株式会社小学館

●造本には十分注意しておりますが、印刷、製本など製造上の不備がございましたら「制作局コールセンター」（フリーダイヤル 0120-336-082）にご連絡ください。
（電話受付は、土・日・祝休日を除く 9:30 ～ 17:30）
●本書の一部または全部を無断で複製、転載、複写（コピー）、スキャン、デジタル化、上演、放送等をすることは、著作権法上での例外を除き禁じられています。代行業者等の第三者による本書の電子的複製も認められておりません。